

令和6年度

# 事業報告書

社会福祉法人 貴 峯

# 目 次

	頁
はじめに .....	1
法人経営・施設運営の指針 .....	2
1 法人経営 .....	3
(1) 一体的な組織運営 .....	3
(2) 感染症等への感染防止対策 .....	3
(3) 防犯・防災機材の整備と事業継続計画（BCP）の策定と見直し .....	3
(4) 福祉サービス第三者評価実施 .....	3
(5) 障害者虐待防止・人権擁護 .....	3
(6) 人事考課の導入 .....	4
(7) 介護負担軽減の環境整備 .....	4
(8) 地域貢献事業 .....	4
(9) 令和6年度 御守基金活用状況 .....	4
(10) 職員の配置状況 .....	5
(11) 職員研修実施状況 .....	6
(12) 役員会等の状況 .....	1 2
(13) 法人組織図 .....	1 4
(14) 法人の沿革 .....	1 5
2 施設運営 .....	1 7
(1) 貴峯荘（施設入所支援・生活介護・短期入所） .....	1 7
(2) 貴峯荘湘南の丘（施設入所支援・生活介護・短期入所） .....	1 9
(3) 第一貴峯館（共同生活援助） .....	2 2
(4) 貴峯荘地域支援センター（生活介護） .....	2 3
(5) 相談支援（貴峯荘地域支援センター・第2ワークピア） .....	2 5
(6) 支援会議等の開催状況 .....	2 6
(7) リスクマネジメントの取組状況 .....	2 7
(8) 苦情及び意見・要望の状況 .....	2 8
(9) メンタル相談利用状況 .....	3 2
(10) 健康管理 .....	3 3
(11) 栄養 .....	3 6
(12) 施設合同行事の実施状況 .....	3 9
3 就労継続支援 .....	4 1
(1) 貴峯荘ワークピア（B型） .....	4 1
(2) 貴峯荘第2ワークピア（A型・B型） .....	4 2
(3) 作業種別 .....	4 4

<資料編> .....	4 8
令和 6 年度利用者状況総括表 .....	4 9
貴峯荘（施設入所支援・生活介護・短期入所）利用者状況 .....	5 0
貴峯荘生活介護（通所）利用者状況 .....	5 1
貴峯荘湘南の丘（施設入所支援・生活介護・短期入所）利用者状況 .....	5 2
第一貴峯館（共同生活援助）利用者状況 .....	5 3
貴峯荘地域支援センター（生活介護）利用者状況 .....	5 4
貴峯荘ワークピア（就労継続支援 B 型）利用者状況 .....	5 5
貴峯荘第 2 ワークピア（就労継続支援 A 型・ B 型）利用者状況 .....	5 6
社会福祉法人 貴 峯 第四次中期行動計画 .....	5 7

## は じ め に

当法人は、昭和33年の創立以来、60年以上にわたり授産施設として、その運営一筋に歩んでまいりました。その間、福祉制度の変革や多様化するニーズに対応するため、身体障害者療護施設を開設するとともに、短期入所事業、生活介護事業、共同生活援助事業（グループホーム）など「身体障害者の総合福祉施設」としての組織・体制整備に取り組んできました。

令和6年度は、新型コロナウイルスに加え、インフルエンザ等の感染者の発生がありました。日々の感染対策以外には、感染者が発生した場合、感染症対策委員会を開催し、事業所間での情報共有と協力体制により、感染拡大防止に一丸となって取り組みました。常に状況の変化に合わせて柔軟に行動する1年間となりました。

令和5年度に引き続き、コロナ禍以前の生活を目指し、年間行事計画に沿って季節に応じた施設行事を実施しました。6月12日は創立記念バイキングを実施し、8月9日は、地域貢献・地域交流として毎年実施している貴峯荘夏まつりを開催しました。大雨と地震に見舞われる中で出演者の皆様のご協力により無事終了することができました。たくさんの地域の方々に足を運んでいただき、利用者・職員共に楽しい時間を過ごすことができました。12月20日はクリスマス・忘年会を実施し、一堂に会し松花堂弁当を食べながら、外部から出演者を招き、一年の節目にふさわしい時間を過ごしました。

施設入所支援（貴峯荘・貴峯荘湘南の丘）・共同生活援助（第一貴峯館）では、高齢化・障害の重度化が顕著になりました。日々変化する利用者の状態を把握し支援することの重要性を改めて認識し、貴峯荘では支援体制や支援の在り方を見直すこととし、プロジェクトを立ち上げ取り組んでいます。

また、入院等の理由による退所での利用者数の減少に伴い、事業所ごとに障害の種別を超えて新規利用者を積極的に受け入れる体制づくりが課題となりました。新規利用者を積極的に受け入れる体制づくりについて検討を重ねてきましたが、来年度以降強化していくこととしました。

令和6年度は、全国各地で大雨と地震の被害があり防災への意識を見直すきっかけとなりました。11月には、平塚市障がい者地域生活サポート事業補助金（地域防災拠点事業）を活用し、災害時に備えポータブル電源とソーラーパネル各4台の購入と非常食の更新を実施しました。また、貴峯荘地域支援センターでは、木口福祉財団の2024年度地域福祉振興助成を活用し、機械浴の更新を実施しました。

## 法人経営・施設運営の指針

- 使 命
- ・ 利用者の働く場を確保するとともに健康で安心のできる定住拠点を築きます
- 基本理念
- ・ 自主 ・ 自立 ・ 安心 ・ 連携
- 長期目標
- ・ 生産体制を整備し、就労支援により利用者の働きがい、生きがいの向上に努めます
  - ・ 日中活動の充実により、利用者満足の達成に努めます
  - ・ 職員の人材育成により、サービスの質の向上に努めます
  - ・ 職員が継続して勤務することができるよう介護負担の軽減や業務の効率化の環境整備に努めます
  - ・ 近隣市民との連携の絆を築くとともに、ボランティアエネルギーに支えられる施設をめざします
- 職員・5つの信条
- ・ 支援の個別化
  - ・ 安心の提供
  - ・ 人権の擁護
  - ・ 自己研鑽
  - ・ 地域社会との連携

### 法人経営の基本方針

- ・ 部門間連携の緊密化と相互協力体制の強化をとおして、統制のとれた一体的な組織運営に努めます。
- ・ 社会福祉関係法令等を遵守し、職員に浸透、徹底することによって、利用者並びに地域社会からの信頼に応えていきます。
- ・ 利用者、職員等に対し、経営内容に係る情報の開示に努め、経営の透明化、信頼性の確保に努めます。
- ・ 災害に強く安心のできる防災体制を確立するとともに、権利擁護、個人情報の保護等、今日的なテーマへの対応に努めます。

### 施設運営の基本方針

- ・ 利用者の権利を守り、利用者から信頼され、利用者が安心して働き、生きがいをもって生活できる施設を目指します。
- ・ より質の高いサービスを提供するため、職員の能力開発、研修を積み重ねることによって、専門性の向上に努めます。
- ・ 就労分野に係って、高い品質を維持し、市場競争を生き抜くため必要な設備投資、新技術システムの導入等ハード、ソフト両面にわたって基盤整備に努めることとします。
- ・ 地域社会との連携を強め、地域における障害者福祉の拠点施設としての責任、役割を果たします。

## 1 法人経営

令和6年度は、障害福祉サービス等報酬改定があり、安定した法人経営ができるよう各事業所の定員数や営業時間等の見直しを行いました。しかし、利用者の高齢化・障害の重度化により、特に施設入所者の利用者数が減り、新規利用者の確保が課題となりました。節電・節水、ペーパーレス化等によるコスト削減に取り組み、安定した経営に努めました。

### (1) 一体的な組織運営

令和6年度も4月に理事長メッセージを実施し、83名の職員が出席しました。また、運営会議を4回実施するとともに、貴峯荘・貴峯荘湘南の丘の業務連絡会を毎月1回開催し、情報共有等に努めました。

### (2) 感染症等への感染防止対策

インフルエンザ予防接種実施の他、11月26日に平塚市民病院感染対策室の協力を得て感染症防止研修を実施しました。新型コロナウイルス第8回目ワクチン接種については、感染防止対策の観点から継続して行う必要がありますが、65歳以上と60歳から64歳の方で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される方、(HIV)による免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方(障害者手帳1級程度)と限定されたことから、重篤化防止に切り替え利用者の希望に沿うこととしましたが、希望者はありませんでした。併せて、感染症の予防等のための指針の見直しを行いました。

### (3) 防犯・防災機材の整備と事業継続計画(BCP)の策定と見直し

防犯研修の実施・防災機材の点検・避難訓練・貴峯荘さんま祭りと呼称して炊き出し訓練を実施しました。また、防災備蓄食料の更新をしました。

12月1日には、感染症発生時における事業継続計画(BCP)の見直しを行いました。

1月30日にBCP合同机上訓練を実施し、2月に自然災害発生時における事業継続計画(BCP)のハザードマップの更新等を見直しを実施しました。

### (4) 福祉サービス第三者評価の受審

令和6年度は貴峯荘第2ワークピアが公益社団法人社会福祉士会の第三者評価を受審しました。12月4日・9日に受審し、3月に最終版報告書を受け取るとともに、評価機関より結果が公表されました。法人のホームページのお知らせから閲覧できます。

### (5) 障害者虐待防止・人権擁護

虐待防止・身体拘束等適正化委員会主催のグループワーク研修の他、オンライン研修を活用することで定期的に開催しました。併せて、身体拘束等適正化のための指針と虐待の防止のための指針の見直しを行いました。

## (6) 人事考課の導入

人事考課制度導入検討チームによる検討会の開催、一部職員を対象に人事考課制度の試行を行いました。令和7年度導入に向けて、3月に3回に分けて全職員への説明会を実施しました。

## (7) 介護負担軽減の環境整備

ノーリフト等検討チームによる検討会の開催の他、国際福祉機器展の視察を行い、様々な福祉機器を体験した結果、貴峯荘湘南の丘に株式会社あかね福祉の「移乗です2」を12月25日に導入しました。

## (8) 地域貢献事業

### ア 生活困窮者就労訓練事業

この事業は、生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）に基づき、社会福祉法人として求められている「地域における公益的な取り組み」の一環として、平成29年3月に神奈川県から認定を受け当法人の就労継続支援B型の2施設（貴峯荘ワークピア、貴峯荘第2ワークピア）で平成29年4月に開始しました。

事業内容は、一般就労が困難な方に対して就労の機会（就労体験・就労訓練）を提供するとともに、当法人が長年取り組んできた障害者の就労支援のノウハウや経験を活かし、自立に向けた取り組みを行うものです。

令和6年度は、9月に平塚市福祉総務課2名、くらしサポート3名、計5名の施設見学を受け入れ、作業の内容や利用者の状況を見学してもらいました。なお、利用者の相談、見学はありませんでした。

その他の活動としては、平塚市内の生活困窮者自立支援計画の進捗状況の確認並びに地域との連携を図ることを目的として行われた懇親会、連絡会に定期的に出席しました。

### イ その他

例年、地域の多くの方が来所する貴峯荘夏まつりは、令和6年度も地域の方々を招き開催しました。開始直前に大雨に見舞われましたが、たくさんの方に来所していただきました。フランクフルトや焼きそば等の販売の他、神奈川県立平塚農商高等学校の生産物等を販売しました。また、ゲームコーナーでは沢山の地域の子どもがゲームに挑戦し、景品を手にして喜んでいる姿が印象的でした。

## (9) 令和6年度 御守基金活用状況

- ・お墓参り（5/6、9/23） 花代・線香代等 5,200円
- ・霊園管理料（12/27） 23,100円

(10)職員の配置状況

令和6年度の職員の入職者数は11名、一方の退職者数は11名でした。前年度に引き続き退職者数を確保することができましたが、職員が不足している状況は変わらず厳しい状況が続いているため、新採用職員の人材育成を続けながらも更なる人材確保に努めました。

各月末在籍状況

(単位：名)

区分	貴峯荘		貴峯荘 ワークピア		貴峯荘 湘南の丘		貴峯荘 地域支援センター			第一貴峯館 第二貴峯館		貴峯荘 第2ワークピア			合計 (月末)		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	生活介護		相談	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤のうちA型 利用者	常勤	非常勤	計
							常勤	非常勤									
4月	15	1	5	2	28	9	4	0	2	3	7	6	9	5	63	28	91
5月	16	1	5	2	28	10	3	0	2	3	7	6	9	5	63	29	92
6月	16	1	5	2	29	10	3	0	2	3	7	6	9	5	64	29	93
7月	16	1	5	2	28	10	3	0	2	3	7	6	9	5	63	29	92
8月	16	1	6	2	29	9	3	0	2	3	7	6	8	4	65	27	92
9月	16	1	6	2	30	9	3	0	2	3	7	6	8	4	66	27	93
10月	16	1	6	2	29	7	3	0	2	3	7	6	8	4	65	25	90
11月	16	1	6	2	29	6	3	0	2	3	7	6	8	4	65	24	89
12月	16	1	6	2	28	6	3	0	2	3	7	6	8	4	64	24	88
1月	16	1	6	2	28	7	3	0	2	3	7	6	8	4	64	25	89
2月	16	1	6	2	27	7	3	0	2	3	7	6	8	4	63	25	88
3月	16	2	6	2	28	8	3	0	2	3	7	6	8	4	64	27	91

(11)職員研修実施状況

外部研修については、集合研修だけではなくオンラインセミナーなどを活用して実施しました。令和6年度は、お茶の水ケアサービス学院のオンライン（Zoom）研修を導入し、新採用職員からリーダー層の階層別研修、身体拘束等虐待防止研修の他、ヒヤリハットや記録についての研修、カスタマーハラスメント対策についての研修等毎月2～3回のオンライン研修会を開催しました。法人内研修については、外部講師の招へいを再開しましたが、令和5年度に引き続き法人内の職員を活用することで、充実した研修となるように努めました。こうした工夫を行うことで、述べ534名の職員が受講しました。

【法人内部研修実施状況 16件 延受講者 340名】

No.	研修名	実施日	対象者	内 容	実施団体・講師等	参加人員	
階層別研修	1	理事長メッセージ	4月2日 4月3日 4月5日	全職員	令和5年度事業計画と予算等について 緊急時対応、報連相の徹底について	理事長	83
	2	虐待防止研修	4月11日 4月16日 5月14日 5月21日 6月4日 6月13日 6月18日	全職員	どのような支援や行為が虐待にあたるのか、虐待防止するためのポイントなどを学ぶ(グループワーク)	所長・部長・課長・課長補佐	38
	3	第1回新採用職員研修	10月28日	新採用職員	社会福祉法人の現状、社会人・職員としての心構えなどを学ぶ	理事長・理事・評議員・幹部職員	9
	4	虐待防止研修（動画視聴・課題提出）	2月27日～ 3月18日	勤続年数 5年以下	支援における不適切ケアと虐待防止について学び、不適切ケア・虐待行為について考える	平塚市高齢者及び障害者虐待防止等ネットワーク協議会提供	32

一般・専門研修	1	障害者差別解消法研修	4月25日	全職員	障害者差別解消法について学ぶ	平塚市障がい福祉課	19
	2	虐待防止研修(オンライン)	5月7日	全職員	高齢者虐待防止の体制づくりとその取り組みについて学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	9
	3	生活保護研修	5月30日	全職員	受給決定に際しての、生活保護受給に係る手続きの流れなどについて学ぶ	平塚市生活福祉課	19
	4	口腔ケア研修	6月4日	全職員	口腔ケアの基礎と上手な対応の仕方等について学ぶ	湘南台デンタルクリニック	12
	5	防犯訓練研修	7月11日	全職員	非常時の施設職員としての対応や護身術を学ぶ	平塚警察署警務課・生活安全課	22
	6	不適切な言葉による拘束「不適切ケアとスピーチロックへの対策」研修	8月2日	全職員	意図しないうちに利用者を傷つけることがないよう声掛け等による言葉の拘束「スピーチロック」について知識を深める	お茶の水ケアサービス学院	6
	7	発達障害の理解について	10月24日	全職員	発達障害者支援法を知り、障害特性や支援方法について学ぶ	かながわA(エース)	17
	8	疥癬対策と新型コロナウイルス感染症等防止研修	11月26日	全職員	疥癬の基礎知識、新型コロナウイルス感染症に対する対応のほかガウンテクニック、手指衛生について学ぶ	平塚市民病院感染対策室	18

一般・専門研修	9	B C B 合同机上訓練	1月30日	全職員	自然災害発生時・感染症発生時における事業継続計画についての理解を深める	施設長・支援部長	20
	10	普通救命講習会	1月23日 10月31日	全職員	応急処置、救命処置、心肺蘇生法、AEDの使い方を学ぶ	平塚市消防本部	22
	11	避難行動要支援者支援制度研修	2月27日	全職員	制度について学び、ハザードマップの見方や災害時の判断の仕方を学び、避難時必要物品について考える	平塚市災害対策課	7
	12	ゲートキーパー研修	3月18日	全職員	ゲートキーパーの役割について学ぶ	平塚市福祉総務課	7

【外部研修受講状況 62件 延受講者 194名】

No.	研修名	実施日	対象者	内 容	実施団体・講師等	参加人員
1	介護リーダー研修(オンライン)	5月9日	主任	現場のリーダーとして役割を知り、意見をまとめたり指示の出し方・受け方について学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	3
2	令和6年度コミュニケーション研修	6月7日	支援員	新採用職員が組織の一員としてチームワーク向上のために自発的に行動できるよう基本姿勢を学ぶ	神奈川県社会福祉協議会	1
3	福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会(オンライン)	6月26日	所長・部長	福祉サービス第三者評価に関して、第三者評価の意義、目的や評価結果の活用方法等について学ぶ(zoom開催)	神奈川県社会福祉協議会(かながわ福祉サービス第三者評価推進機構)	4
4	介護職員のための接遇マナー研修	6月26日	採用後2年以内の職員と希望者	多職種、外部機関とのスムーズな連携のために接遇の基本的な内容を学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	4
5	令和6年度社会福祉法人主任/係長研修(オンライン)	8月7日	主任	リーダー層が持つべき視点として社会福祉法人経営の今後の在り方や期待されている役割について学ぶ	全国社会福祉法人経営者協議会	2
6	新任福祉・介護施設等職員合同交流・研修会	9月18日	支援員	新任職員である仲間との交流を通じて福祉に携わる者としての意識の向上を図る	神奈川県社会福祉協議会	1
7	指示の仕方・報告の受け方研修	9月20日	支援員	情報を生活にリーダー層が身に付けるべき知識と技術を学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	11
8	指示の受け方と報告の仕方研修	10月8日	支援員	コミュニケーションの基礎を学ぶとともに情報把握の能力と伝達のスキルを高める	お茶の水ケアサービス学院	9
9	中堅キャリアパス対応生涯研修過程	10月31日 11月1日	中堅職員	利用者理解や後輩指導、職場においての問題解決等、中堅職員が期待される役割について理解を深める	神奈川県社会福祉協議会	1
10	福祉施設部会 施設長研修会	11月13日	部長・課長	部下の能力向上・成長を促すため仕事の任せ方や指導方法について学ぶ	平塚市社会福祉協議会	3

一般・専門研修	1	介護福祉士実務者研修 (資格取得奨励手当活用)	4月7日～ 6月23日	支援員	介護に関する専門的な知識と実践的な技術を習得する	湘南国際アカデミー	1
	2	介護職員初任者研修養成講座(資格取得奨励手当活用)	5月25日～ 8月21日	支援員	介護に関する基礎的な知識と介護技術を習得する	神奈川社会福祉専門学校	1
	3	令和6年度算定基礎届事務説明会	6月13日	給与担当者	算定基礎届の作成や提出について学ぶ	平塚市厚生年金適用課	1
	4	神奈川県相談支援従事者 現任研修	6月7日～ 7月9日 8月20日 9月17日	相談員	地域の障害者等の意向に基づく地域生活を実現するための知識や技術について学ぶ	かながわ福祉サービス振興会	1
	5	社会福祉法人会計入門講座(オンライン)	6月29日	支援部長	社会福祉法人特有の計算書類・支払資金・勘定科目等について学ぶ	一般社団法人福祉経営管理実践研究会	1
	6	サービス管理責任者等研修 (更新研修)	7月18日・19日	サービス管理責任者	障害者等の意向に基づくサービス提供を実現するために必要な援助技術を習得する	特定非営利活動法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1
	7	社会福祉法人会計実務講座(中級コース)	8月1日～ 9月30日 (通信) 11月14～ 11月16日 (集合研修)	会計担当者	日常の経理事務及び会計基準に準拠した計算書杭頭作成、財務分析等を学ぶ	社会福祉法人全国社会福祉協議会	1
	8	かながわ地域生活移行推進人材養成研修	6月26日	支援員	神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～共に生きる社会を目指して～の施行に伴い、専門人材として地域生活移行支援の視点を学ぶ	神奈川県福祉こどもみらい局福祉部障害サービス課	1
	9	令和6年度ファシリテーション研修	7月10日 7月16日	支援部長	ミーティングやカンファレンスの合意形成へ向かうための基本的な技術を学ぶ	神奈川県社会福祉協議会	1
	10	自閉症の基礎～障害者の特性と理解～研修	7月12日	支援員等	発達障害の一つである自閉症の特性と理解をテーマとして知識及び支援の在り方を学ぶ	かながわ福祉サービス振興会	7
	11	令和6年度アサーション研修	8月29日	支援員	アサーティブコミュニケーションの技法を実践的に学ぶ	神奈川県社会福祉協議会	1
	12	高次脳機能障害セミナー	8月31日	支援員	高次脳機能障害について当事者からの話を聞き対応方法や心理的支援について学ぶ	社会福祉法人神奈川リハビリテーション事業団	1
	13	スーパーバイザー研修	9月13日～10月21日 10月29日 12月17日	支援員	職員の育成と定着を目的としてスーパービジョンの考え方や方法を学ぶ	神奈川県社会福祉協議会	1
	14	BCP作成とシュミレーション訓練実施に関する研修	8月22日	所長・部長・課長等	BCP研修訓練の着手に向けて具体的な取り組み方を生部	株式会社Kube11	10
	15	人事評価システム研修	9月26日	所長・部長・課長等	人事考課ツールの導入・評価業務の効率化について学ぶ	株式会社SmartHR	3

一般・専門研修	16	安全運転管理者等法定講習	10月8日	安全運転管理者	安全運転管理者としての心得を学ぶ	神奈川県公安委員会	1
	17	重層的支援体制整備事業	10月18日	支援員・相談員	枠を超えて地域の社会資源がつながり合い、対象者に寄り添った支援ができるようにする	平塚市社会福祉協議会	2
	18	成年後見制度と制度見直しの動向	10月29日	支援部長・課長	令和4年4月以降からの成年後見制度の見直しと制度見直しの論点について学ぶ	平塚後見センターよりそい	3
	19	事務研修会	11月13日	給与担当	退職共済事業についての加入等の手続きについて学ぶ	神奈川県福利協会	1
	20	苦情解決研修会	11月22日	苦情受付担当者	苦情解決の進め方や利用者・家族への対応などについて学ぶ	かながわ福祉サービス運営適正化委員会	1
	21	会計実務者決算講座	12月9日	会計担当者	財務管理について理解するとともに正しい会計処理や決算実務のポイントを学ぶ	法人経営者協議会	2
	22	かながわ地域生活移行スペシャリストフォローアップ研修	12月16日	支援員	地域生活移行に向けた取り組みや課題等の共有、今後の支援に向けたブラッシュアップを行う	かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1
	23	関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会	12月19日・20日	施設長等	地域の社会資源として施設が最大限有効に役割を發揮し役割を果たせるよう施設ケア・生活支援を振り返る	関東・甲信越地区身体障害者施設協議会	4
	24	神奈川県障害者グループホーム職員研修	12月24日	支援員	グループホームにおける現状と課題を把握し、支援の質の向上に向けた他職員とのかかわり方を学ぶ	かながわ福祉サービス振興会	1
	25	条例と意思決定支援の理解を深める	1月17日	支援部長	神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例及び意思決定支援への理解を深める	神奈川県共生推進本部室	1
	26	就労選択支援についての研修会	1月28日	施設長	就労選択支援についてのサービス内容等を学ぶ	社会就労センター協議会	1
	27	令和6年度特定給食施設等栄養管理講習会	2月4日	栄養士	令和7年度適用の日本人の食事摂取基準(2025年版)について学ぶ	神奈川県保健福祉部保険福祉課	2
	28	神奈川県障害者グループホーム職員研修	2月5日	支援員	虐待防止や権利擁護のための実践的な取り組みについて学ぶ	かながわ福祉サービス振興会	1
	29	プレリーダー研修	2月7日	支援員	指導的役割を担うチームリーダーに求められる役割や心構えを学ぶ	平塚市社会福祉協議会	1
	30	チームワークの基礎研修(オンライン)	5月28日	全職員	多職種連携が求められる福祉・医療の領域においてコミュニケーションの重要性について学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	9
	31	苦情・クレーム・カスハラ対応力アップ研修(オンライン)	6月5日	全職員	苦情・クレームに対する要因やその対応方法について学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	9
	32	令和6年度全国就労センター総合研究大会(富山大会)	7月4日 7月5日	理事長・職員	「利用者主体」をキーワードに、報酬改定に込められたメッセージを読み解き就労支援の方向性を考える	全国社会就労センター協議会(セルフ協)	3

一般・専門研修	33	デイサービスの生活相談員の役割と業務の進め方・支援力アップ研修	7月11日	相談員・支援員	生活相談員が施設と地域の間で役割を発揮するため、ソーシャルワーク機能と役割を確認し業務の進め方を学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	2
	34	介護現場におけるカスハラの基本知識とその対策（応用編）	7月31日	全職員	カスタマーハラスメントの基本知識を生部とともに事例を用いて対策方法について学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	6
	35	ヒヤリハット&事故報告書の書き方・活かし方研修	8月13日	全職員	ヒヤリハット・事故報告の目的の確認と具体的な書き方を学ぶ。	お茶の水ケアサービス学院	6
	36	高次脳機能障がいセミナー 理解編	9月29日	支援員	高次脳機能障害がある方への対応・心理的支援などを学び、その方たちの生活について考える	神奈川リハビリテーション事業団	1
	37	食育推進研修「睡眠の基本と食生活」	9月9日	栄養士	給食施設における適切な栄養管理の実施の推進及び地域における食育について学ぶ	神奈川県平塚保健福祉事務所	1
	38	介護記録の書き方のコツ&基本文例	9月17日	支援員	記録の目的・記録の書き方のポイントについて学び記録における悩みを解消する	お茶の水ケアサービス学院	7
	39	創傷ケアと外用薬の使い方セミナー	9月27日	看護師・支援員	褥瘡や下腿潰瘍など創傷に応じた外用薬の使い分け方や外用薬の有効性について学ぶ	平塚市民病院	3
	40	社会福祉法人決算のあり方・読み方	10月3日	会計担当者	決算処理の方法・読み方について学ぶ	福祉新聞社	1
	41	認定調査フォローアップ研修（オンライン）	11月6日	相談員	認定調査の基本原則、調査項目の判断基準、特記事項の記載ポイント等について学ぶ	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課	2
	42	ケアテックスワン横浜'24 ケアフード展	11月14日	栄養士	嚥下障害や栄養全般、航空リハの意義と実践	ブティックス株式会社	1
	43	ストーマケアのキホンセミナー	12月13日	看護師・支援員	ストーマケアの基本、皮膚障害など合併症出現時のケア、ストーマ装具選択について学ぶ	平塚市民病院	2
	44	介護現場における虐待防止の考え方と具体的取り組み	1月14日	支援員	虐待や身体拘束についての基礎知識や具体策を学び、尊厳や職員のケアについて学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	7
	45	高齢者の虐待を防止するための知識とその取り組み	1月27日	支援員	虐待がなぜなくなるのか心理を紐解き防止策を考える	お茶の水ケアサービス学院	8
	46	研修企画講座	1月29日	研修担当者等	研修企画及び運営のノウハウや注意点などを学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	4
47	排泄ケアの実践研修	2月7日	支援員等	誤りに陥りやすいケアを知り、排せつ物の観察方法やケアの目的を理解し基本と実践について学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	11	
48	非常災害時の対応	2月26日	支援員等	災害後の気づきから実際の避難方法や持ち出すべきもの等について学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	7	

一般・専門研修	49	令和6年度全国社会就労センター長研修	2月27日・28日	施設長等	社会就労センターの果たす役割について学び、考える	全国社会就労センター協議会(セルプ協)	3
	50	倫理及び法令順守・個人情報の取り扱い・プライバシーの保護	3月10日	支援員等	尊厳の保持という観点から倫理及び法令順守・個人情報の取り扱い・プライバシーの保護について学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	3
	51	障害者雇用納付金制度事務説明会	3月21日	給与担当者	障害者雇用納付金制度の概要、申請書の作成、提出方法について学ぶ	高齢・障害・求職者雇用支援機構	1
	52	介護予防及び要介護度振興予防に関する研修	3月26日	支援員等	転倒予防、生活環境の工夫などより長く自立した生活を送れるよう支援するための方法を学ぶ	お茶の水ケアサービス学院	4

(12)役員会等の状況

令和6年度の評議員会・理事会等については、次のとおり開催しました。

ア 評議員会

回数	開催日	議案等	会場
第1回 (第103回)	令和6年 6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度事業報告書について</li> <li>令和5年度決算報告書について</li> <li>令和6年度資金収支補正予算(第一次)について</li> <li>監事の監査結果について(参考)</li> <li>社会福祉充実残額の算定結果について(参考)</li> <li>令和6年度障害サービス等報酬改定の概要について(参考)</li> </ul>	貴峯荘 湘南の丘
第2回 (第104回)	令和6年 12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度資金収支補正予算(第二次)について</li> </ul>	決議の省略
第3回 (第105回)	令和7年 3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度資金収支補正予算(第三次)について</li> <li>令和7年度事業計画について</li> <li>令和7年度資金収支当初予算について</li> <li>理事長の職務執行状況について(参考)</li> <li>箱根町の虐待に関する調査報告について(参考)</li> <li>人事考課制度導入について(参考)</li> </ul>	貴峯荘 湘南の丘

イ 理事会

回数	開催日	議案等	会場
第1回 (第275回)	令和6年 6月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度事業報告書(案)について</li> <li>令和5年度決算報告書(案)について</li> <li>管理運営規程の一部改正(案)について</li> <li>就労支援事業A型利用就業規程の一部改正(案)について</li> <li>令和6年度資金収支補正予算(第一次)(案)について</li> <li>6月評議員会開催(案)について</li> <li>監事監査結果について(報告)</li> <li>社会福祉充実残額の算定結果について(報告)</li> <li>令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の概要について(報告)</li> </ul>	貴峯荘 湘南の丘
第2回 (第276回)	令和6年 11月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度資金収支補正予算(第二次)(案)について</li> <li>パートタイム職員就業規程の一部改正(案)について</li> <li>新型コロナウイルス感染症等発生時における事業継続計画の一部改正(案)について</li> <li>各種指針の一部改正(案)について</li> </ul>	貴峯荘 湘南の丘

		<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染症の予防及びまん延防止のための指針の一部改正(案)について</li> <li>(2) 身体拘束等適正化のための指針の一部改正(案)について</li> <li>(3) 虐待の防止のための指針の一部改正(案)について</li> <li>・給食調理業務委託業者の選定及び契約の締結(案)について</li> <li>・臨時評議員会の開催(案)について</li> <li>・理事長の職務執行状況について(報告)</li> <li>・県指導監査の結果について(報告)</li> </ul>	
第3回 (第277回)	令和7年 3月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度資金収支補正予算(第三次)(案)について</li> <li>・令和7年度事業計画(案)について</li> <li>・令和7年度資金収支当初予算(案)について</li> <li>・人事考課制度導入(案)について</li> <li>・諸規程の一部改正(案)について</li> <li>・管理運営規程の一部改正(案)について</li> <li>・3月評議員会開催(案)について</li> <li>・理事長の職務執行状況について(報告)</li> <li>・箱根町の虐待に関する通報について(報告)</li> </ul>	貴峯荘 湘南の丘

ウ 評議員選任・解任委員会

開催日	監査事項	会場
なし		

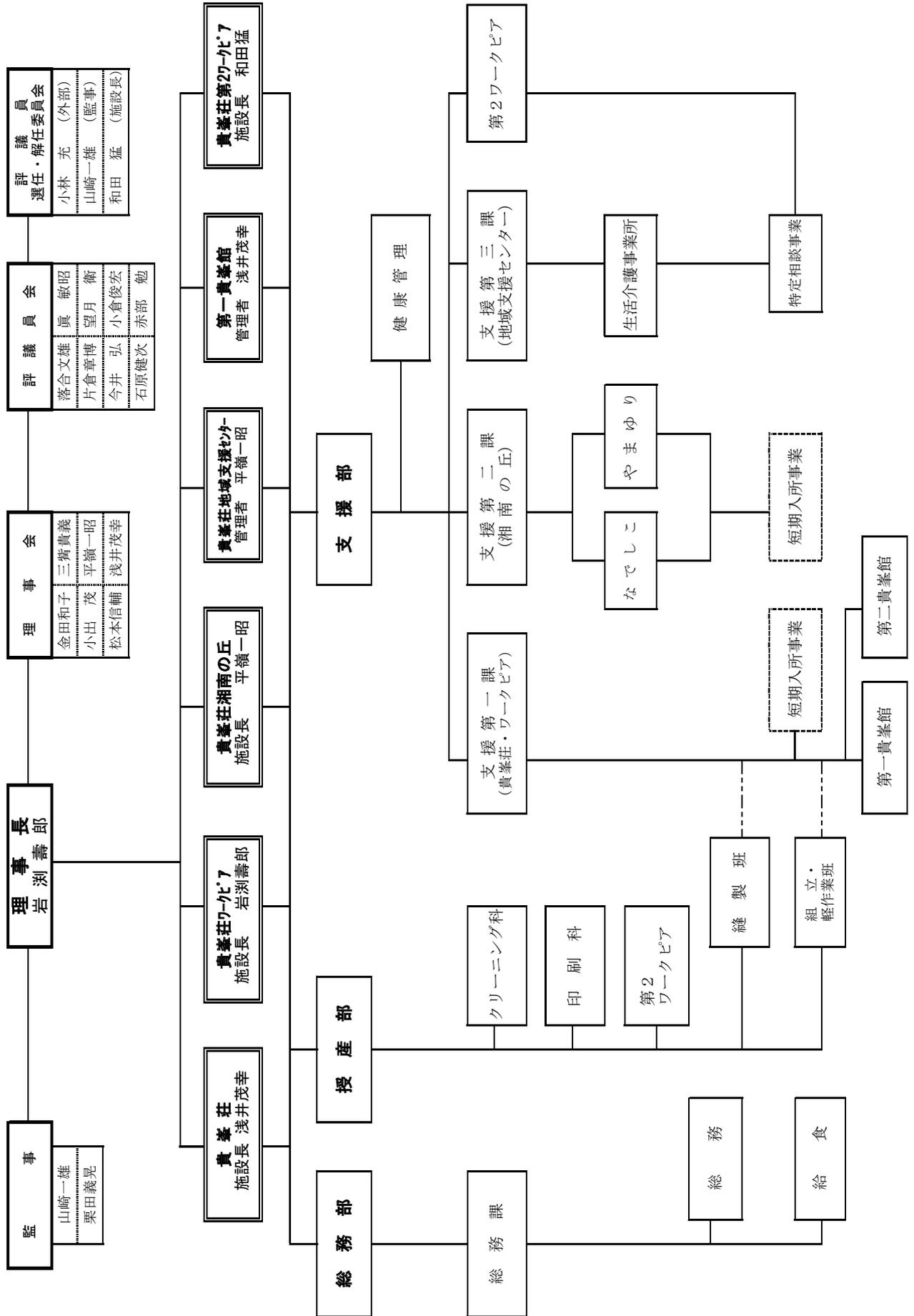
エ 監事監査

開催日	監査事項	会場
令和6年5月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務監査(事業報告等の監査)</li> <li>・会計監査(計算関係書類及び財産目録の監査)</li> </ul>	貴峯荘 湘南の丘

# 法人組織図

(13) 法人組織図

令和7年3月31日現在



#### (14)法人の沿革

- |       |     |   |
|-------|-----|---|
| 昭和24年 | 3月  | ・ 身体障害者授産施設「県立平塚貴峯荘授産所」開所   |
| 昭和33年 | 4月  | ・ 社会福祉法人神奈川県厚生協会設立  |
| 昭和42年 | 9月  | ・ 「平塚貴峯荘授産所」を「貴峯荘職業更生センター」に名称変更<br>(入所90名、通所10名)  |
| 昭和53年 | 4月  | ・ 「貴峯荘職業更生センター」を「貴峯荘第1職業更生センター」(入所55名、通所20名)と「貴峯荘第2職業更生センター」<br>(入所50名、通所7名)に名称変更   |
| 平成2年  | 4月  | ・ 「貴峯荘第1職業更生センター」の定員を変更(入所30名、通所20名)<br>・ 「貴峯荘第2職業更生センター」の定員を変更(入所75名、通所20名)  |
| 平成12年 | 2月  | ・ 居宅介護支援事業「貴峯荘介護援助センター」開設   |
| 平成15年 | 4月  | ・ 「貴峯荘第2職業更生センター」の定員を変更(入所60名)<br>・ 貴峯荘第1職業更生センターと「貴峯荘第2職業更生センター」の通所<br>事業(各20名)の廃止   |
| 平成15年 | 4月  | ・ 身体障害者通所授産施設「貴峯荘ワークピア」の開設定員を変更(通所<br>40名)  |
| 平成17年 | 3月  | ・ 「貴峯荘第1職業更生センター」廃止   |
| 平成17年 | 4月  | ・ 身体障害者授産施設「貴峯荘」開設(入所55名)<br>(貴峯荘第2職業更生センターから名称変更)<br>・ 身体障害者療護施設「貴峯荘湘南の丘」開設(入所52名)<br>・ 身体障害者療護施設「貴峯荘湘南の丘短期入所事業」開始(入所4名)<br>・ 身体障害者デイサービスセンター開設(定員1日15名) |
| 平成18年 | 10月 | ・ 貴峯荘地域支援センター「生活介護事業」開始(定員1日10名)<br>(身体障害者デイサービスセンターから移行)<br>・ 「貴峯荘湘南の丘」短期入所事業を自立支援法に基づく短期入所事業移行<br>・ 貴峯荘地域支援センター「相談支援事業」開始                               |
| 平成19年 | 4月  | ・ 「貴峯荘ワークピア」就労継続支援事業B型開始(定員40名)<br>(身体障害者通所授産施設から移行)<br>・ 貴峯荘地域支援センター「生活介護事業」の定員変更(定員1日20名)<br>・ 「貴峯荘ケア付き住宅」の運営開始(定員5名)                                   |
| 平成21年 | 3月  | ・ 居宅介護支援事業「貴峯荘介護援助センター」の事業廃止  |
| 平成22年 | 4月  | ・ 「平塚市中里278番地1」の土地2,351.21㎡と建物を平塚市か<br>ら取得、建物一部改修工事   |
| 平成23年 | 1月  | ・ 貴峯荘地域支援センターを「平塚市中里」へ移転<br>・ 障害者支援施設「貴峯荘湘南の丘短期入所事業」の定員変更(入所5名)   |
| 平成23年 | 4月  | ・ 「貴峯荘」施設入所支援、生活介護に移行(定員55名)(身体障害者入所<br>授産施設から移行)<br>・ 「貴峯荘湘南の丘」施設入所支援、生活介護に移行(定員52名)   |

- (身体障害者療護施設から移行)
- 平成24年 3月 ・障害者支援施設「貴峯荘短期入所事業」開始(入所2名)
  - 平成24年 4月 ・貴峯荘個室化改修工事
  - 平成24年 4月 ・障害者支援施設「貴峯荘」の定員変更(定員40名)
  - 平成24年 4月 ・障害者支援施設「貴峯荘短期入所事業」の定員変更(入所4名)
  - 平成24年 4月 ・「貴峯荘地域支援センター」特定相談支援事業開始
  - 平成25年 3月 ・「貴峯荘ケア付き住宅」の事業廃止
  - 平成25年 4月 ・「貴峯荘ワークピア」就労継続支援事業B型の定員変更(定員20名)
  - 平成25年 4月 ・「貴峯荘地域支援センター」一般相談支援事業(地域移行・地域定着)開始
  - 平成26年 4月 ・共同生活援助事業「第一貴峯館」を開設  
(定員7名 サテライト型住居2名(平成26年8月1名、10月1名))
  - 平成28年 2月 ・民有地(伊勢原市岡崎字権現堂6530-1:就労継続支援事業A型、B型事業用地)1,526.17㎡取得
  - 平成28年 6月 ・「貴峯荘第2ワークピア」開設 就労継続支援事業A型(定員10名)  
B型(定員10名)伊勢原市岡崎
  - 平成28年 6月 ・「貴峯荘第2ワークピア」特定相談支援事業・一般相談支援事業(地域移行・地域定着)開始
  - 平成28年11月 ・収益事業「厚生協会クリナース」事業廃止
  - 平成29年 2月 ・県有地(平塚市達上ヶ丘1450-8、145・中里265-2、16:貴峯荘、貴峯荘湘南の丘、貴峯荘ワークピア敷地)5,529.07㎡取得
  - 平成29年 3月 ・民有地(平塚市中里266-1、265-17:共同生活援助事業用地)326.93㎡取得
  - 平成29年11月 ・共同生活援助事業「第一貴峯館」の定員を7名から8名に定員変更
  - 平成30年 4月 ・共同生活援助事業「第二貴峯館」(定員7名)を開設
  - 平成30年 4月 ・共同生活援助事業「第一貴峯館」の定員を8名から7名に定員変更  
(サテライト型住居(2名)廃止)
  - 平成30年12月 ・法人名を「神奈川県厚生協会」から「貴峯」に名称変更
  - 平成31年 3月 ・社会福祉法人 貴峯 のお墓の建立(平塚四之宮霊園)
  - 令和 4年 5月 ・「貴峯荘地域支援センター」、「貴峯荘第2ワークピア」一般相談支援事業  
(地域移行・地域定着)の事業廃止
  - 令和 6年 3月 ・貴峯荘・貴峯荘湘南の丘大規模修繕工事
  - 令和 6年 4月 ・障害者支援施設「貴峯荘湘南の丘」の定員変更(定員50名)
  - 令和 6年 4月 ・障害者支援施設「貴峯荘湘南の丘短期入所事業」の定員変更(定員7名)

## 2 施設運営

### (1) 貴峯荘（施設入所支援・生活介護・短期入所）

貴峯荘の入所利用者の平均年齢は67.7歳、障害支援区分平均は、4.68と年々高齢化、障害の重度化が進行しています。数年前には歩行出来ていた方も、転倒や加齢による身体機能の低下により車椅子や歩行器などの補装具が必要となりました。

入所者の7割以上の方々が作業後にリハビリに取り組み、入院等で体力低下した方は午前・午後1日に2回のリハビリを行いました。機能の低下に追いついていけない状態でした。

機能低下により一人で買い物をすることが困難な利用者が多く、買物代行、衣類の出張販売やパンの出張販売の活用、職員と近隣のクリエイトに出かける買物同行などを活用する方が増加しました。

転倒や体調不良等による救急車の要請数が過去最多となっており、傾向としては夜間、土曜、日曜、祝日に集中しました。こうした中で利用者の安全を第一に、支援の在り方について考えるプロジェクトチームを発足し、検討を進めています。

また、利用者の満足度が上がるような余暇活動を目指し、利用者の意向を確認しながら映画鑑賞会やドライブ、法人の墓参り、毎月の買い物同行など利用者を楽しんでもらえるようなイベントを企画・実施しました。

貴峯荘に入所・通所しながら作業に取り組み、働きがいや生きがいを感じて収入を得る喜び、社会に貢献する誇りを持ち、その人らしく楽しく豊かな人生を一緒に過ごせるよう取り組みました。

令和6年度も、新型コロナウイルス感染防止対策のため、検温、手指消毒（手洗い）、マスクの着用を奨励しました。

#### ア 貴峯荘利用状況 施設入所（定員40名）

（単位：名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408
延利用者数	1,020	1,054	1,027	1,054	1,054	1,020	1,023	1,020	1,025	1,012	964	1,052	12,325
異動状況	1 △1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### 障害支援区分

令和7年3月31日現在

障害支援区分	人数	比率 (%)
区分 6	4	11.8
区分 5	18	52.9
区分 4	9	26.5
区分 3	3	8.8
区分 2	0	0

区 分 1	0	0
合 計	34	100.0

障害支援区分平均	4.68
----------	------

イ 貴峯荘利用状況 生活介護（定員40名） （単位：名）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	44	43	43	44	44	44	44	44	44	44	44	44	526
延利用者数	770	821	825	844	828	777	799	748	802	794	680	782	9,470
異動状況	△1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

障害支援区分 令和7年3月31日現在

障害支援区分	人 数	比率 (%)
区 分 6	6	13.3
区 分 5	21	46.7
区 分 4	14	31.1
区 分 3	4	8.9
区 分 2	0	0
区 分 1	0	0
合 計	45	100.0

障害支援区分平均	4.64
----------	------

ウ 貴峯荘利用状況 短期入所（定員4名）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	3	3	3	2	4	4	5	4	3	4	4	4	43名
延利用日数	33	33	33	32	35	34	41	43	43	43	39	43	452日
1日平均利用者数	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	14.8

エ 余暇活動等実施状況

開催月	活動名	実施回数	延参加利用者数 (名)	参加者 合計 (名)	ボランティア・職員等 参加 延人数 (名)
4月	映画観賞会 買い物同行支援 パステル・工作 桜見学	9	47 11 8 19	95	引率職員 7

5月	墓参り・湘南平 映画観賞会 カラオケ パステル・工作	8	23 43 4 6	76	引率職員 4
6月	映画観賞会 買物同行支援	8	60 20	80	引率職員 7
7月	映画観賞会 七夕見学 買物同行支援	9	79 8 6	93	引率職員 10
8月	映画観賞会 買物同行支援	6	61 11	72	引率職員 5
9月	映画観賞会 パステル・工作 カラオケ 墓参り 買物同行支援	13	37 44 14 12 9	116	引率職員 9
10月	映画観賞会 カラオケ 富士見地区レク	11	50 24 6	80	引率職員 2
11月	映画観賞会 パステル・工作 買物同行支援	6	42 8 6	56	引率職員 2
12月	映画観賞会 カラオケ ゲーム・体操 買物同行支援	10	63 2 4 10	79	引率職員 5
1月	初詣（諏訪部神社） 映画観賞会 カラオケ ドライブ パステル・工作	12	8 62 2 8 8	88	引率職員 5
2月	映画観賞会 絵画サークル 買物同行支援	9	70 10 13	93	引率職員 2
3月	買物同行支援 映画観賞会	7	13 68	81	引率職員 2
合計		108		1009	106

## (2) 貴峯荘湘南の丘（施設入所支援・生活介護・短期入所）

貴峯荘湘南の丘は、利用者の個性や人権を尊重し、一人ひとりの利用者のニーズに沿ったサービスの提供に努めるとともに、自主的・主体的な生活の確立を目標に利用者個々の特性に応じた介護支援、リハビリ訓練を実施しました。

引き続き令和6年度も新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用の継続、毎日の検温、手指消毒やうがい、換気をするなどの感染防止対策を徹底しました。

12月中旬頃から年始にかけて、インフルエンザA型と新型コロナウイルス感染者が発生し、3月中旬にもインフルエンザA型感染者が発生したため、フロア閉鎖等の対策を講じ、感染拡大防止に努めました。

令和6年度も利用者の余暇時間充実を図るため、作品展に向けての制作活動、外出レクリエーションで10月にサーカス鑑賞に行きました。

支援員の腰痛予防のために、なでしこ（女性フロア）では移乗介助機器を12月25日に導入しました。また、やまゆり（男性フロア）ではスライディングボードを活用するように

なり、どちらもベッドや浴室での移乗介助時等で、職員の身体的負担軽減に繋げることができました。

ア 貴峯荘湘南の丘利用状況 施設入所・生活介護（定員50名）（単位：名）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	46	46	46	44	44	43	43	43	43	43	43	43	527
延利用者数	1,358	1,362	1,299	1,333	1,297	1,252	1,269	1,226	1,266	1,291	1,179	1,273	15,405
異動状況	0	△1 1	0	△2	0	△1	0	0	0	0	0	0	1 △4

障害支援区分

令和7年3月31日現在

障害支援区分	人 数	比率 (%)
区 分 6	25	58.1
区 分 5	14	32.6
区 分 4	3	7.0
区 分 3	1	2.3
区 分 2	0	0
区 分 1	0	0
合 計	43	100.0

障害支援区分平均	5.47
----------	------

イ 貴峯荘湘南の丘利用状況 短期入所（定員7名）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	2	3	2	2	4	4	3	2	3	2	2	2	10
延利用日数	11	31	12	13	18	20	19	12	11	13	13	11	33
1日平均利用者数	0.4	1.0	0.4	0.4	0.6	0.7	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.12

ウ 日中活動等実施状況

開催月	活動名	実施回数	延参加利用者数 (名)	合計 (名)	ボランティア・職員等 参加 延人数 (名)
4月	オセロ・麻雀ゲーム等	45	54	263	
	映画会		74		
	カラオケ		29		
	創作活動		43		
	お茶会・花見		20		
	風船バレー等		29		
	陶芸サークル	(2)	14		8

5月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 風船バレー等 陶芸サークル	44 (3)	27 68 26 61 14 21	217	10
6月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 外出・散歩 陶芸サークル	39 (2)	39 56 36 36 13 12	192	6
7月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 風船バレー等 陶芸サークル	45 (2)	41 64 20 48 9 15	197	8
8月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 ボールゲーム	44	33 83 28 47 7	198	
9月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 陶芸サークル	41 (2)	22 59 37 54 12	184	7
10月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ等 創作活動 テレビ野球観戦 サーカス鑑賞(外出) 陶芸サークル	48 (2)	28 62 28 38 4 5 14	179	8
11月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 クリスマスリース作り 陶芸サークル	45 (3)	39 56 36 36 3 14	184	11
12月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 風船バレー等 ツリー飾りつけ	38	47 43 29 43 9 6	177	
1月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 スポーツ・テレビ観戦 将棋 陶芸サークル	39 (3)	21 83 28 47 16 2 7	204	13
2月	オセロ・麻雀ゲーム等 映画会 カラオケ 創作活動 風船バレー等 絵画サークル 陶芸サークル	43 (2)	44 40 43 50 12 8 15	212	6 7

3月	オセロ・麻雀ゲーム等	42	17	137	6
	映画会		50		
	カラオケ等		14		
	創作活動		33		
	風船バレー等		10		
	絵画サークル		8		
	陶芸サークル		5		
合計	513	2344	84		

(3) 第一貴峯館（指定共同生活援助）

令和6年度も昨年度に引き続き、検温、手指消毒（手洗い）、マスクの着用、外出・外泊自粛などの新型コロナウイルス感染症対策を徹底しました。しかし、7月中旬に第一貴峯館で1名の入居者の感染が発生し、個室隔離を行うなど感染拡大防止対策を実施した結果、他の入居者へ感染することなく終息しました。

一方で、充実した生活が送れるよう定期的に入居者の意見を聞き、ニーズの把握や希望を取り入れ余暇活動を実施しました。6月には貴峯館日帰り旅行として箱根方面、生命の星地球博物館に出かけ、外食やお土産の購入を楽しみました。

ア 第一貴峯館 入居状況（定員14名・・・男性7名/女性7名）（単位：名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居者数	10	10	10	10	10	10	10	10	11	10	10	10	120
延べ入居者数	292	302	290	302	305	291	268	253	322	306	271	298	3,500
異動状況	0	0	0	0	0	0	0	0	1	△1	0	0	△1 1

障害支援区分

令和7年3月31日現在

障害支援区分	人数	比率 (%)
区分 6	0	0
区分 5	1	10.0
区分 4	4	40.0
区分 3	4	40.0
区分 2	0	0
区分 1	0	0
無判定	1	10.0
合計	10	100.0

障害支援区分平均	3.30
----------	------

イ 誕生日会等実施状況

開催月	活動名	参加利用者数 (名)	ボランティア・職員等 参加 延人数 (名)
4月	誕生日会(開所記念)	10	職員参加 10
6月	日帰り旅行	8	職員参加 5
10月	誕生会(BBQ)	10	職員参加 15
1月	誕生日会(新年会)	10	職員参加 14
合計		38	44

(4) 貴峯荘地域支援センター(生活介護)

換気、送迎の乗車時に検温・手指消毒を行うなどの新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら、入浴支援のほか創作活動、カラオケ、卓上ゲーム等の日中活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染及び濃厚接触者による欠席、体調不良等による欠席などがありましたが、延利用者数は前年度より310名増加しました。

ア 貴峯荘地域支援センター利用状況 生活介護(定員20名) (単位:名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	16	16	17	17	17	17	17	17	17	16	17	17	201
延利用者数	134	150	141	155	152	140	158	141	139	139	132	142	1723
1日平均利用者数	6.4	7.1	7.1	7.0	7.2	7.4	7.2	7.1	6.6	7.0	7.3	7.1	7.0

障害支援区分

令和7年3月31日現在

障害支援区分	人数	比率(%)
区分 6	8	47.1
区分 5	5	29.4
区分 4	1	5.9
区分 3	3	17.6
区分 2	0	0
区分 1	0	0
合計	17	100.0

障害支援区分平均	5.06
----------	------

イ 日中活動実施状況

項目 月	活動名	実施 回数	延参加利用者数 (名)	合計 (名)	ボランティア・職員等 参加 延人数 (名)
4月	ドライブ(花見)	49	10	177	
	DVD鑑賞		14		
	創作活動		52		
	カラオケ		14		
	卓上ゲーム		87		
5月	DVD鑑賞	49	34	170	
	創作活動		49		
	カラオケ		21		
	卓上ゲーム		60		
	餅つき		6		
6月	DVD鑑賞	50	22	145	
	創作活動		42		
	カラオケ		14		
	卓上ゲーム		67		
7月	DVD鑑賞	54	35	220	
	創作活動		84		
	カラオケ		29		
	卓上ゲーム		72		
8月	DVD鑑賞	51	37	238	
	創作活動		104		
	カラオケ		20		
	卓上ゲーム		77		
9月	DVD鑑賞	46	28	217	
	創作活動		98		
	カラオケ		24		
	卓上ゲーム		67		
10月	DVD鑑賞	60	26	225	
	創作活動		96		
	カラオケ		7		
	卓上ゲーム		96		
11月	DVD鑑賞	66	23	220	
	創作活動		90		
	カラオケ		20		
	卓上ゲーム		60		
	避難訓練		27		
12月	DVD鑑賞	63	20	213	
	創作活動		98		
	カラオケ		31		
	卓上ゲーム		60		
	餅つき		4		
1月	DVD鑑賞	58	23	212	
	創作活動		87		
	カラオケ		23		
	卓上ゲーム		79		
2月	DVD鑑賞	47	27	192	
	創作活動		97		
	カラオケ		7		
	卓上ゲーム		61		
3月	DVD鑑賞	58	33	217	
	創作活動		108		
	カラオケ		10		
	卓上ゲーム		66		
合計		651		2446	0

(5) 相談支援（貴峯荘地域支援センター・貴峯荘第2ワークピア）

相談支援事業所は、主にサービス等利用計画案の作成、モニタリング報告書(サービスの継続)の作成を行っており、各市町村の障害福祉主管課、福祉関係機関、医療機関、地域生活支援事業対応のサービス事業所、相談事業所等と連携を図りながら計画案を作成しました。

利用者、家族の相談に応じ、利用者の意向を尊重しつつ、課題整理、利用調整等の支援をするとともに、サービス等利用計画の作成等総合的な相談支援を行いました。また、在宅で生活している地域の方々に地域生活支援サービスの導入、サービス利用の継続等の相談支援を行いました。

ア 利用者計画案等の作成状況

(ア) 貴峯荘地域支援センター

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用計画案作成	7	4	4	6	2	3	5	5	6	7	3	3	55
モニタリング	29	19	19	19	19	22	28	16	17	18	18	25	249
合 計	36	23	23	25	21	25	33	21	23	25	21	28	304

(イ) 貴峯荘第2ワークピア

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用計画案作成	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	2	3	9
モニタリング	1	1	4	2	2	6	0	1	3	1	2	6	29
合 計	1	1	5	2	2	8	0	1	3	2	4	9	38

イ 相談・見学者状況

(単位：名)

施設名・事業所名	相談者数	見学者数
貴峯荘	10	3
貴峯荘短期入所	10	3
貴峯荘ワークピア	15	7
貴峯荘湘南の丘	13	7
貴峯荘湘南の丘短期入所	13	7
貴峯荘地域支援センター	12	5
第一貴峯館	7	3
貴峯荘第2ワークピア	30	23
合 計	110	58

(6) 支援会議等の開催状況

障害者総合支援法に基づき、障害者の地域生活移行と就労を進め、利用者の自立を基本とした支援を心がけました。

支援会議では、利用者本人・家族のニーズや意向を確認し、利用者とサービス管理責任者を含む関係職員で検討しながら、支援内容等の評価をしました。そして、それを基にさらに幅広い関係職員が集まり個別支援会議を実施し、6カ月毎に個別支援計画を作成しました。

利用者の高齢化や障害の重度化に伴う機能低下により、医師や理学療法士等との連携を反映したきめ細かな個別支援計画の作成に努めました。

個別支援計画作成状況

(単位：件)

区分	貴峯荘		貴峯荘ワークピア	第一貴峯館・第二貴峯館	貴峯荘湘南の丘	地域支援センター生活介護	貴峯荘第2ワークピア
	貴峯荘	生活介護(通所)					
4月	14	0	0	0	0	9	1
5月	3	5	4	0	0	1	3
6月	6	1	6	0	16	0	6
7月	10	2	3	0	16	2	4
8月	0	0	0	0	14	0	3
9月	2	2	4	10	0	10	4
10月	13	0	0	0	1	8	1
11月	3	5	4	0	0	0	3
12月	6	1	6	0	13	0	4
1月	10	2	3	0	16	0	4
2月	0	0	0	0	14	1	3
3月	2	2	3	10	0	8	4
計	69	20	33	20	90	39	40

(7) リスクマネジメントの取組状況

令和6年度の事故件数は31件、ひやりはっと件数は239件、合計は270件でした。令和5年度の事故の件数は21件、ひやりはっとの件数は198件、合計は219件でした。

令和6年度からリスクマネジメント委員会での取り組みとして、半年ごとに昨年との件数・発生状況を比較し、発生傾向の分析と、リスクマネジメントに対する意識付けに努めました。

令和5年度の与薬による事故・ひやりはっと件数は3件でしたが、令和6年度は25件でした。利用者の高齢化・障害の重度化により、薬の飲みこぼしが増えたこと、職員の確認不足による飲ませ忘れや薬のセットミスによるものでした。与薬のひやりはっと・事故が発生した場合には、事故等発生時の検証やスタッフ会議等で情報共有し、再発防止に努めました。

ひやりはっと・事故報告状況

(単位：件)

種類	所属	貴峯荘	貴峯荘 ワレビア	第一、二 貴峯館	貴峯荘湘南の丘		貴峯荘 地域支援 センター	貴峯荘 第2 ワレビア	合計
					なでしこ	やまゆり			
転倒・滑落 打撲・裂傷	ひやり はっと	84	5	9	13	22	1	2	136
	事故	9	2	2	3	2	0	0	18
火 傷	ひやり はっと	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0
誤 嚥	ひやり はっと	0	0	0	3	1	0	0	4
	事故	0	0	0	0	2	0	0	2
与 薬	ひやり はっと	10	0	1	1	3	0	0	15
	事故	5	0	1	0	4	0	0	10
支援・ 処置	ひやり はっと	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0
所在不明	ひやり はっと	6	0	0	0	0	0	0	6
	事故	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	ひやり はっと	63	5	6	2	1	0	1	78
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	ひやり はっと	163	10	16	19	27	1	3	239
	事故	14	2	3	3	9	0	0	31

(8) 苦情及び意見・要望の状況

苦情解決取扱規程に基づく、令和6年度の苦情及び意見・要望の状況は、次のとおりでした。

- ア 苦情及び意見・要望の受付状況は、苦情が0件、意見・要望が7件でした。
- イ 苦情及び意見・要望の受付経路は、苦情受付担当者1件、苦情解決責任者1件、その他職員5件でした。
- ウ 苦情及び意見・要望の内容は、生活支援サービス4件、職員対応2件、その他1件でした。
- エ 申出人の要望は、話を聞いてほしい1件、回答が欲しい2件、調査してほしい2件、改めてほしい1件でしたが、すべて解決（改善）しました。
- オ 事業所別では、貴峯荘1件、貴峯荘湘南の丘5件、貴峯荘第2ワークピア1件でした。
- カ 第三者委員への報告や運営適正化委員会への申し出を必要とする事案はありませんでした。

苦情及び意見・要望の状況

法人全体

ア 苦情及び意見・要望の受付方法

受付方法	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
直接	0	0%	4	57%
電話	0	0%	2	29%
手紙・Fax等	0	0%	1	14%
その他	0	0%	0	0%
合計	0	0%	7	100%

イ 苦情及び意見・要望の受付経路

受付経路	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
苦情受付担当者直接	0	0%	1	14%
苦情解決責任者経由	0	0%	1	14%
その他職員経由	0	0%	5	71%
合計	0	0%	7	100%

ウ 苦情及び意見・要望の申出人

利用者との関係	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
本人	0	0%	1	14%
家族	0	0%	4	57%
代理人	0	0%	2	29%
不明（投書等）	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%
合計	0	0%	7	100%

エ 苦情及び意見・要望の内容

苦情等の内容	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
生活支援サービス	0	0%	4	57%
医療・看護サービス	0	0%	0	0%
相談サービス	0	0%	0	0%
食事サービス	0	0%	0	0%
環境	0	0%	0	0%
職員対応	0	0%	2	29%
利用者間	0	0%	0	0%
その他	0	0%	1	14%
合計	0	0%	7	100%

オ 苦情及び意見・要望の申出人の要望

申出人の要望	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
話を聞いて欲しい	0	0%	1	14%
教えて欲しい	0	0%	0	0%
回答が欲しい	0	0%	2	29%
調査して欲しい	0	0%	2	29%
改めて欲しい	0	0%	1	14%
その他	0	100%	1	14%
合計	0	100%	7	100%

カ 苦情及び意見・要望の対応結果

対応結果	件数			
	苦情	%	意見 要望	%
解決（改善等）	0	0%	7	100%
第三者委員への報告	0	0%	0	0%
運営適正化委員会への申出	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%
合計	0	0%	7	100%

事業所別内訳

ア 苦情及び意見・要望の受付方法

受付方法	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークスペース		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
直接	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0%	4	57%
電話	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0%	2	29%
手紙・Fax等	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0%	1	14%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	1	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0%	7	100%

イ 苦情及び意見・要望の受付経路

受付経路	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークスペース		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
苦情受付担当者直接	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0%	1	14%
苦情解決責任者経由	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0%	1	14%
その他職員経由	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0%	5	71%
合計	0	1	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0%	7	100%

ウ 苦情及び意見・要望の申出人

利用者との関係	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2ワークスペース		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0%	1	14%
家族	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0%	4	57%
代理人	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0%	2	29%
不明（投書等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	1	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0%	7	100%

エ 苦情及び意見・要望の内容

苦情等の内容	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2リーブル		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
生活支援サービス	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0%	4	57.1%
医療・看護サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
相談サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
食事サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
職員対応	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0%	2	29%
利用者間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0%	1	14%
合計	0	1	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0%	7	100%

オ 苦情及び意見・要望の申出人の要望

申出人の要望	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2リーブル		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
話を聞いて欲しい	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0%	1	14%
教えて欲しい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
回答が欲しい	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0%	2	29%
調査して欲しい	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0%	2	29%
改めて欲しい	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	1	14%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	100%	1	14%
合計	0	1	0	0	0	5	0	0	0	1	0	100%	7	100%

カ 苦情及び意見・要望の対応結果

対応結果	貴峯荘		第一貴峯館		湘南の丘		地域支援センター		第2リーブル		苦情小計	%	意見要望小計	%
	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望	苦情	意見要望				
解決（改善等）	0	1	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0%	7	100%
第三者委員への報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
運営適正化委員会への申出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合計	0	1	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0%	7	100%

(9) メンタル相談利用状況

利用者及び職員のさまざまな不安や悩みなどの心理面・精神面に対する相談の受け皿として毎月1回実施しました。相談日には、外部の臨床心理士を相談員に委嘱して、利用者及び職員の不安や悩みごとについて相談をし、助言等を受けました。困難事例が発生した際にも、必要に応じて相談し、助言を参考に支援を行いました。

利用者からの相談内容としては、「利用者自身の心の葛藤」、「今後のことについて」などでした。また、職員からの相談内容としては、「利用者の支援について」、「現在の対応と今後に向けた対応方法」の相談が主でした。

積極的に相談を希望する利用者が主でしたが、職員が利用者の変化に気づいた際などには、声かけをして相談に結び付け、生活の安定が図れた事例もありました。このような場合は、職員が相談者の現状等を事前に相談員に説明、または同席して利用者が落ち着いて相談ができるように配慮しました。

令和6年度は37件の相談数で、前年度と比較して増減はありませんでした。

相談の内容・結果については個人のプライバシーに配慮しつつ、より支援が必要と思われる場合は、その対応方法を検討したうえで、個別支援計画等に反映しました。

メンタル相談状況

(単位:件)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貴峯荘	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	5
貴峯荘 ワークピア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貴峯荘 湘南の丘	4 (2)	3	3 (3)	2	3	2	2	2	2	3	3	3	32 (5)
貴峯荘地域 支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第一貴峯館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相談支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貴峯荘第2 ワークピア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4 (2)	3	3 (3)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37 (5)

\* ( ) 書きは職員の相談件数で内数とする。

(10)健康管理

ア 通院状況

令和6年度における利用者の通院状況は、貴峯荘(入所)では、整形外科(20.1%)、内科(19.9%)、貴峯荘湘南の丘では、精神科(22.0%)、内科(14.5%)が多い状況でした。また、年間に通院した延人数は、前年度が891名でしたが、令和6年度は841名でした。

なお、医療機関での受診結果については、主治医の治療内容等を把握して、利用者の健康管理に努めました。

(ア)診療科別通院状況 <<延人数>>

(単位:名)

所属	科別	内	外	整	脳	泌	精	皮	歯	リ	耳	婦	形	眼	そ	緊	計
		科	科	形	神	尿	神	膚	科	ハ	鼻	人	成	科	の	急	
貴峯荘	%	19.9	2.8	20.1	6.2	7.9	13.1	13.9	6.0	1.5	0.2	0.0	0.0	0.6	1.3	0.4	94
	名	93	13	94	29	37	61	65	28	7	1	0	0	3	6	2	439
貴峯荘 湘南の丘	%	14.5	6.2	8.0	10.7	11.0	22.0	11.5	0.0	0.8	1.1	1.6	0.0	0.5	2.7	0.5	91
	名	54	23	30	40	41	82	43	0	3	4	6	0	2	10	2	340
第一貴峯館	%	25.5	3.9	15.7	15.7	2.0	9.8	15.7	21.6	0.0	3.9	0.0	0.0	7.8	0.0	0.0	122
	名	13	2	8	8	1	5	8	11	0	2	0	0	4	0	0	62
合計	人	147	36	124	69	78	143	108	28	10	5	6	0	5	16	4	841

(イ)月別通院状況 <<延人数>>

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貴峯荘	24	49	30	40	30	30	33	44	38	45	37	39	439
貴峯荘湘南の丘	28	37	32	22	35	19	11	30	30	29	34	33	340
第一貴峯館	7	4	6	8	5	8	2	1	12	6	2	1	62
合計	59	90	68	70	70	57	46	75	80	80	73	73	841

イ 利用者の健康管理状況

毎週1回(水曜日)嘱託医による診察を実施しました。

(ア)嘱託医(内科)の診察状況

<<延人数>>

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貴峯荘	26	34	25	23	36	25	32	36	32	32	32	33	366
貴峯荘湘南の丘	60	67	54	48	49	49	66	61	56	63	58	49	680
第一貴峯館	4	4	4	3	4	4	0	0	1	10	4	0	38
貴峯荘ワークピア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	90	105	83	74	89	78	98	97	90	105	94	82	1,085

その他、利用者の飲酒については、嘱託医による評価を実施し、内服薬、持病との関係を考慮して、行事等の際の飲酒量等のアドバイスを受けた後提供しました。

## ウ 健康診断

全利用者を対象として、9月10日及び28日に106名が健康診断を受けて、24名が再検査を受診しました。検査内容は、血液検査、尿検査、結核予防法に基づく胸部レントゲン検査を実施しました。また、がん検診として、血液検査（腫瘍マーカー「CEA」）を94名の利用者が受けました。

## エ 服薬管理

職員による服薬管理実人数

(単位：名)

貴峯荘	貴峯荘 湘南の丘	第一貴峯館	貴峯荘地域 支援センター	貴峯荘 ワークピア	合計
22	38	3	6	0	69

## オ 処置

### (ア) 褥瘡・外傷・皮膚湿疹

褥瘡の処置者7名に対して、皮膚症状の治療改善を目指し、軟膏処置を実施しました。転倒、滑落による外傷も多く見られ、適宜、処置を実施しました。

### (イ) バルンカテーテル留置の管理

尿道カテーテル留置者4名、膀胱瘻カテーテル挿入者3名に対して、尿の流出状況が良好に保たれるように、飲水指導、排尿量のチェックを行いました。担当医指示により定時で膀胱洗浄1名実施しました。

### (ウ) 排便管理

利用者の排便状況を把握し、嘱託医に相談、その指示に基づき内服薬・坐薬・浣腸等による排便コントロールを行いました。人工肛門装着者1名に対し、皮膚の疾患等のトラブルが生じないよう対応しました。

## カ 訪問歯科治療

毎週1回（木曜日）、訪問歯科治療を実施しました。

訪問歯科受診実人数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貴峯荘	26	34	25	23	36	25	32	36	32	32	32	33	366
貴峯荘湘南の丘	60	67	54	48	49	49	66	61	56	63	58	49	680
第一貴峯館	4	4	4	3	4	4	0	0	1	10	4	0	38
貴峯荘ワークピア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	90	105	83	74	89	78	98	97	90	105	94	82	1,085

### キ 予防注射

インフルエンザ予防接種を嘱託医及び協力医療機関において実施しました。インフルエンザ予防接種は10月24日～11月14日に実施し、実施人数は延べ122名でした。

インフルエンザ予防接種実施実人数

(単位：名)

貴峯荘 (入所)	貴峯荘 (通所)	貴峯荘 湘南の丘	第一貴峯館	貴峯荘地域 支援センター	貴峯荘 ワークピア	第2 ワークピア	合計
34	3	43	8	6	14	14	122

### ク 入院状況

診療科別入院状況は内科が22名、精神科が8名と多い状況でした。入院総数は貴峯荘が13名、第一貴峯館が6名、貴峯荘湘南の丘が28名、合計は47名でした。

診療科別入院延人数

(単位：名)

所属	科別													計
	内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 経 科	泌 尿 器 科	精 神 科	皮 膚 科	リ ハ 科	耳 鼻 科	婦 人 科	成 形 外 科	眼 科	そ の 他	
貴峯荘	7	1	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	13
湘南の丘	12	1	0	2	4	8	1	0	0	0	0	0	0	28
第一貴峯館	3	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	6
合計	22	2	2	2	7	8	1	3	0	0	0	0	0	47

### ケ 機能訓練 (リハビリ)

二次障害と機能低下防止、機能の維持増進を図る事を目的に、毎月1回嘱託医の整形外科医による機能訓練指導会、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による評価、訓練を週1回実施しました。

機能訓練 (リハビリ) 実施延人数

(単位：名)

	P T訓練	S T訓練	O T訓練	機能訓練指導会	合計
貴峯荘	41	25	17	19	102
貴峯荘湘南の丘	96	56	47	48	247
第一貴峯館	5	1	3	1	10
貴峯荘ワークピア	5	2	2	3	12
合計	147	84	69	71	371

コ リハビリテーション実施計画

リハビリが必要な利用者は、リハビリ評価を基に半年毎にリハビリテーション実施計画書を作成しました。

リハビリテーション実施計画書作成件数

(単位：件)

内 訳	4月	10月	合計
貴峯荘	21	34	55
貴峯荘生活介護（通所）	3	6	9
貴峯荘湘南の丘	46	44	90
合計	70	84	154

(11) 栄養

令和6年度は、利用者の障害特性に合わせた食形態の食事の提供はもちろん、利用者ごとの栄養管理を行うとともに、ノロウイルスや食中毒防止にも留意し、新型コロナウイルス感染症防止対策として、食堂の換気、机・椅子の消毒を実施し、安全・安心な食事提供に努めました。

なお、食事量、食形態等については、栄養ケアマネジメントを活用し、利用者一人ひとりに合った食事を提供しました。行事食では、貴峯荘ワークピアや地域支援センターを利用する通所利用者に行事食を提供する場を増やす為、祝日にあたる行事食を平日に変更しました。

恒例の「餅つき大会」は、昨年度に引き続き、5月と12月の2回実施し、利用者が杵で餅をつき、食べるまでの流れを楽しみました。

年1回実施している嗜好調査では、「食べたいメニューを出してほしい」や「味付けを濃くしてほしい」などの意見があり、改善につなげました。また、「ピザが食べたい」との要望を受け、昨年度より昼食時の手作りピザの提供も継続して行いました。定例的に実施している給食委員会と同様、利用者の意見や要望などを考慮するとともに、適正な栄養所要量と食事の質の向上に努めました。

グループホームの第一貴峯館・第二貴峯館では新型コロナウイルス感染症防止対策に努めながら、開所記念・誕生日会や年始の食事会を開催し、寿司や天ぷら、雑煮等の特別メニューを提供しました。また、貴峯荘第2ワークピアでは、バランスの取れたクックフリーズによる昼食を提供しました。

ア 栄養マネジメント実施状況

(単位：件)

	6月	9月	12月	3月	計
貴 峯 荘	33	32	33	33	131
貴峯荘湘南の丘	42	41	42	40	165
計	75	73	75	73	296

イ 制限食等 (令和7年3月31日現在)

(単位:名)

区分	貴峯荘	貴峯荘 ワークピア	湘南の丘	地域支援 センター
給食総数	43	24	43	17
常食・軟菜食	34	10	23	7
経管栄養 (PEG)	0	0	0	0
カロリー制限食 (1,600kcal~1,000kcal)	9	5	20	10
塩分制限食 (8g以下)	2	1	1	0
蛋白制限食	0	1	0	0

※ カロリー・塩分制限食の重複を含む。

ウ 刻み食対応状況

(単位:名)

区分	貴峯荘	貴峯荘 ワークピア	湘南の丘	地域支援 センター
一口刻み	2	0	2	6
半口刻み	3	0	6	1
超刻み	2	0	8	1
ミキサー食	0	0	1	0
ソフト食	0	0	6	1
合計	7	0	23	9

エ 行事食

行事名	献立内容
春ご飯	桜海老と生姜のピラフ、鱈のポワレ ブラウンソース、じゃが芋とアスパラのサラダ、ミニケーキ、コンソメスープ
子供の日	ちらし寿司、茶碗蒸し、海鮮しゅうまい、あんこの抹茶ババロア、清汁
創立記念日	バイキング (おにぎり、茶そば、サンドウィッチ、ローストビーフ、グラタン、鶏肉の唐揚げ、豚肉の角煮、赤魚の粕漬け焼き、茶碗蒸し、天ぷら、ハッシュドポテト、海藻サラダ、ポテトサラダ、冷製ポタージュ、フルーツ、プチケーキ、シュークリーム)
七夕	七夕そうめん、貝柱のかき揚げ、枝豆とトマトサラダ、プリン風
土用の丑の日	うなぎ丼、昆布と里芋の煮物、そら豆の白和え、清汁
夏まつり	焼鳥、焼きそば、フランクフルト、チャーハン、たこ焼き、カレーライス、焼きおにぎり、から揚げ、ハッシュドポテト、カットフルーツ、胡瓜の浅漬、枝豆、ソフトクリーム、かき氷
もりそば	そば、天ぷら盛り合わせ、肉じゃが、メロン

十五夜	栗ご飯、鶏肉のきのこソース、昆布と里芋の煮物、お月見ゼリー、豚汁
敬老の日	赤飯、天ぷら盛り合わせ、青菜の和え物、沢煮椀、シャインマスカット
秋のお彼岸	おはぎ
ハロウィン	ロールパン、クリームシチュー、ブロッコリーソテー、コールスロー、かぼちャプリン
手作りピザ	マルゲリータ・ホワイトソース、ハッシュドポテト、ナゲット他
防災訓練	さんまの塩焼き、かぶのくず煮、なめたけ和え、豚汁
にぎり寿司	握り寿司(マグロ、かんぱち、サーモン、甘えび、玉子、穴子、いなり)、茶碗蒸し、清汁、メロン
勤労感謝の日	刺身、筑前煮、ほうれん草の磯和え、清汁
障害者週間 (マグロ丼)	マグロ漬け丼、かぼちャのそぼろあん、白和え、清汁
クリスマス・忘年会	松花堂弁当 (俵おにぎり、グリルチキン、コーンポタージュコロケ、エビフライ、ローストビーフ、五目肉豆腐、ペスカトーレ、お刺身、ポテトサラダ、チョップドサラダ)、手作りケーキ
お正月	お雑煮、おせち、七草粥、おしるこ
節分	太巻、いなり、炊き合わせ、胡瓜の梅マヨ和え、豆乳プリン、清汁
ひなまつり	ちらし寿司、春野菜の炊き合わせ、菜の花のお浸し、菱形三食ゼリー、清汁
春のお彼岸	ぼたもち

#### オ 選択食の内容

区分	選択食メニュー			
昼食	豚キムチ丼		かき揚げ丼	
	メンチカツ		アジフライ	
	担々麺		冷やし中華	
	メンチカツ		エビカツ	
	焼鳥丼		天津丼	
	ワンタン麺		海鮮塩焼きそば	
	鶏肉の唐揚げタルタルソース		アジフライ	
	豚キムチ丼		かき揚げ丼	
デザート	アイス(練乳いちご)		アイス(ソーダ)	
	モンブラン		苺ミルフィーユパフェ	
	コロケコッペ	カレーパン	チョコ入り白パン	メロンパン

#### カ 嗜好調査

	利用者からの意見等	意見等に対する改善内容
①	全体の3割の方から「昼食時の麺と汁物がぬるい」	麺・汁物は通常時間より早めに準備に取り掛かり、盛り付ける直前までスープ・汁物を温めます。

②	「とんかつが食べたい」	毎年、食べたいメニューの一つとして「とんかつ」が上がっています。「かつ煮」や「かつ丼」の提供について検討しました。
③	「食べたいパンは？」の問いにたくさんのパンの種類をあげて頂きました。	嗜好面、年々パンが食べられない方が増えていることを考慮し、パンセレクトや訪問パン販売を開催しました。

他、「いつも美味しい食事をありがとうございます。」という意見も多く頂きました。

#### キ 実 演

・餅つき大会 5月、12月 (おやつ)

#### 【提供内容】

5月	草もち (あんこ・きなこ)	もち 46名 おはぎ 47名 ソフト食 13名
12月	もち (あんこ)	もち 45名 おはぎ 47名 ソフト食 12名

#### (12)施設合同による行事の実施状況

令和6年度は、令和5年度に引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながらも、利用者の生活が楽しく有意義になるように様々な活動・行事等を合同（法人主催）で開催をしました。

「貴峯荘夏まつり」については、多くの来所者や外部からのボランティアの協力を得て開催することができました。

また、「湘南ひらつか花火大会」を屋上から楽しむ観賞会、手持ち花火を楽しむ「貴峯荘花火大会」を実施し、趣の異なる2種類の花火を楽しみました。10月9日～11日の3日間では、利用者が日中活動やサークルなどで制作した作品を展示した作品展を開催し、来場者の評価による優秀作品には表彰状を授与しました。12月には、「貴峯荘クリスマス・忘年会」として貴峯荘利用者、貴峯荘湘南の丘利用者等が一堂に会して、松花堂弁当やケーキ等のおいしい食事と余興等による楽しい時間を過ごしました。

この他にもカラオケ大会、餅つき大会などを実施し、施設入所での生活において、ひとときでも利用者が楽しみを感じられるよう工夫しました。

ボランティアの協力により、行事は笑顔があふれる盛大なものになり、日中活動では利用者も職員も新たな学びを得ることができました。

ア 施設合同行事等実施状況

実施日	行事名	参加利用者	ボランティア等参加状況
5月16日	第5回衣類販売会	希望利用者（通所含む）	株式会社ふくいち2名
5月30日	餅つき大会	全利用者	餅つき指導：1名
6月12日	創立記念バイキング	全利用者	
7月4日	七夕飾り飾り付け	希望利用者（通所含む）	
7月5日	七夕見学	入所希望利用者24名	富士見地区社協ボランティア12名 引率職員17名
8月9日	貴峯荘夏まつり	全利用者	余興：55名 利用者対応・販売等：33名
8月23日	湘南ひらつか花火大会鑑賞会	希望利用者（通所含む）	
9月13日	貴峯荘花火大会	希望利用者（通所含む）	
10月9日～11日	貴峯荘作品展	希望利用者（通所含む）	
11月5日	防災訓練・さんま祭り	全利用者	
11月7日	カラオケ大会	出場者10名（通所含む） ほか観客として参加	
11月29日	クリスマスイルミネーション 点灯式	希望利用者（通所含む）	
12月3日	クリスマス飾り飾り付け	希望利用者（通所含む）	
12月5日	第6回衣類販売会	希望利用者（通所含む）	株式会社ふくいち2名
12月20日	クリスマス忘年会	全利用者	余興：18名
12月26日	餅つき大会	全利用者	

項目	実施日	参加利用者	ボランティア等参加状況
パン販売	3ヶ月に1回程度	希望利用者	トラットリアフォルツァ ハローエレファン
理容奉仕	毎月第4火曜日	希望利用者	カットウェブ勉
訪問美容	毎月第2木曜日	希望利用者	ムネカタ美容室

イ 地域交流実施状況

実施日	活動名 (場所)	参加利用者	ボランティア等参加状況
7月5日	七夕見学 (湘南ひらつか七夕まつり会場)	湘南の丘11名 貴峯荘8名	富士見地区社協ボランティア13名 引率職員7名 引率職員5名
10月6日	市民体育レクリエーション 富士見地区大会 (平塚市立富士見小学校)	貴峯荘5名	引率職員2名

### 3 就労継続支援

貴峯荘ワークピア（就労継続支援B型）並びに、貴峯荘第2ワークピア（就労継続支援A型及び就労継続支援B型）にて、就労支援事業を実施しました。また、貴峯荘と貴峯荘湘南の丘の  
日中活動の一環としても生産活動を実施しました。

作業はクリーニング、介護用品販売、印刷、縫製、組立軽作業のほか、施設内の清掃だけでなく、新型コロナウイルス感染症防止策として、消毒除菌作業を継続しました。

それぞれの利用者の特性に応じて作業目標を定め、その目標に沿った指導・支援に努めました。

また、引き続き「障害者優先調達推進法」の周知と受注拡大を図りつつ、営業活動に取り組みました。

#### (1) 貴峯荘ワークピア（就労継続支援B型）

貴峯荘ワークピアでは、地域で生活する利用者が安心して通所し、作業に参加できるよう支援しました。令和6年度は令和5年度に引き続き、換気、作業場のパーテーション設置、送迎の乗車時には検温・手指消毒を行うなどの新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しました。

#### ア 貴峯荘ワークピア 利用状況（定員20名）

利用月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
参加人数	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	16	16	205
工賃支払 総額	484,689	511,540	870,831	462,423	487,458	470,336	450,055	461,798	791,793	457,522	439,903	739,523	6,627,871
延参加日数	311	329	300	312	285	276	287	275	296	261	234	274	3,440
延参加時間	1,619	1,666	1,756	1,536	1,686	1,541	1,493	1,554	1,459	1,527	1,426	1,316	18,579
開所日数	22	23	20	23	22	21	23	21	22	21	20	21	259
平均工賃 (時給)	296	304	493	297	286	301	297	293	539	296	304	557	355
1日平均 利用人数	14.1	14.3	14.8	13.6	13.0	13.1	12.5	13.1	13.6	12.6	12.4	13.0	13.3

#### 障害支援区分

令和7年3月31日現在

障害支援区分	人 数	比率 (%)
区 分 6	0	0
区 分 5	0	0
区 分 4	3	18.7
区 分 3	7	43.9
区 分 2	3	18.7
区 分 1	0	0
無 判 定	3	18.7

合 計	16	100.0
-----	----	-------

障害支援区分平均	2.44
----------	------

イ 貴峯荘ワークピア（就労継続支援B型）目標工賃の達成状況（単位：円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均工賃実績	月額	31,352	39,991	41,528

(2) 貴峯荘第2ワークピア（就労継続支援A型事業・B型事業）

貴峯荘第2ワークピアでは、一般に就労することが難しい障害のある方々に就労の場を提供するとともに、クリーニング作業の技術の習得等に必要な訓練・指導を行いました。令和6年度は令和5年度に引き続き、換気、昼食時のソーシャルディスタンス、送迎の乗車時には手指消毒を継続して行うなどの新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しました。また、施設利用や作業を通じて、社会人として自立できるよう支援を行いました。

ア 貴峯荘第2ワークピア 利用状況（A型 定員10名）

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
実参加人数	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	52
賃金支払総額	793,416	800,730	742,860	938,694	640,464	597,222	653,394	632,136	655,108	625,508	580,938	684,364	8,344,834
延参加日数	107	105	93	80	79	83	87	85	86	78	80	84	1,047
延参加時間	534	522	456	372	378	372	390	384	384	318	354	372	4,836
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
1日平均利用人数	4.9	4.6	4.2	3.5	3.4	3.8	3.8	3.9	3.7	3.4	4.0	3.7	3.9

※就労継続支援A型の利用者については、非常勤職員として雇用し、最低賃金を適用しています。

障害支援区分

令和7年3月31日現在

障害支援区分	人数	比率(%)
区分6	0	0
区分5	0	0
区分4	0	0
区分3	0	0
区分2	2	50.0
区分1	0	0
非該当	1	25.0

無判定	1	25.0
合計	10	100.0

障害支援区分平均	1.00
----------	------

イ 貴峯荘第2ワークピア 利用状況 (B型 定員10名)

利用月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
参加人数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
工賃支払総額	382,820	365,760	603,862	369,990	307,880	350,215	394,860	377,380	579,642	317,349	347,745	593,183	4,990,686
延参加日数	273	260	252	284	231	255	294	280	239	236	246	245	3,095
延参加時間	1,618	1,529	1,485	1,617	1,315	1,456	1,725	1,646	1,378	1,382	1,451	1,430	18,032
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
平均工賃 (時給)	237	239	407	229	234	241	229	229	421	230	240	415	279
1日平均 利用人数	12.4	11.3	11.5	12.3	10.0	11.6	12.8	12.7	10.4	10.3	12.3	10.7	11.5

障害支援区分

令和7年3月31日現在

障害支援区分	人数	比率 (%)
区分 6	0	0
区分 5	0	0
区分 4	2	13.3
区分 3	3	20.0
区分 2	7	46.7
区分 1	0	0
無判定	3	20.0
合計	15	100.0

障害支援区分平均	2.07
----------	------

ウ 貴峯荘第2ワークピア 目標工賃の達成状況 (就労継続支援B型) (単位:円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均工賃 実績	月額	26,875	29,873	35,853

## エ 行事開催状況

開催月	活動名	実施日数(日)	延参加利用者数(名)	ボランティア・職員等参加延人数(名)	
5月	春のレクリエーション (服部牧場・あいかわ公園)	3	19	職員参加	10
10月	秋の夕涼み会	1	17	職員参加	12
12月	クリスマス・忘年会	1	16	職員参加	13
合計		5	57	35	

### (3) 作業種別

#### ア クリーニング科

病院や施設との年間契約により利用者の作業と売り上げを維持しつつ、新たなニーズの掘り起こしによる受注や更なる顧客の確保に努めました。

利用者の高齢化が進む中、それぞれの特性に応じた作業工程の見直しや、手順を工夫しつつ、利用者同士が助け合うことで、取り組むことができました。また、第三者機関による年4回の細菌検査を実施することで、品質の維持・向上にも努めました。

#### イ 印刷科

「障害者優先調達推進法」の基に神奈川セルプセンター共同窓口との連携により、主に神奈川県や県立学校の案件開拓に努めました。また、品質および印刷速度向上を図るため、オンデマンド印刷機1台の更新を行いました。さらに、令和7年度に向け案件管理表(受注簿)を一新し、各工程でのタスク管理を行い易くしたことで、受注から納品までの流れがスムーズになりました。

#### ウ 縫製班

10月よりイスの部品を新規定期受注しました。工程を細分化して、作業の幅を広げるとともに、毎月の安定した売上げを確保できました。

また、平塚市の新しいロゴを刺繍した製品も好評を得ることができ、売上げ増を図ることができました。

利用者については、作業場内にて配置換えをし、移動がしやすく、見通しの良い環境作りを行ったことで、協力し合いながら作業を進め、効率を上げることができました。

#### エ 組立軽作業班

##### (ア)組立作業

神奈川セルプセンターの共同受注窓口を通して受注した「スティックのり」の封入作業を継続し、新たに「スティックのり20g」も受注することとなったとともに、

販売方法を変更することによる「商品バーコード」を貼る作業を行うこととなりました。また、クリーニング科からの「タオルのたたみ」の作業を継続しています。

(イ) クリーンナップ

貴峯荘居住棟及び浴室やトイレ・ホールだけでなく、作業棟の清掃やゴミ回収を行いました。また、新型コロナウイルス感染症防止対策としての消毒作業は土日も含め継続しています。

(ウ) 介護用品販売

新型コロナウイルス感染症は落ち着いたものの、世の中の物価上昇が続くことにより、扱う商品の価格改定による値上げが増えた年でした。また、これまでの商品が廃番となり、その替わりとなる商品を提案することも増えるとともに、新たなサイズの需要などがありました。

オ 貴峯荘第2ワークピア

クリーニングの受注状況については、神奈川県総合リハビリテーション事業団をはじめ、県立の検査機関や民間病院等から発注をいただきました。また、B型利用者用の軽作業は、ボールペンのクリップの組み立ての他、ネジの検品、コミック本の加工作業、電子部品の組み立て作業を実施しました。

さらに、施設外就労事業所として、神奈川県立子ども自立生活支援センター（通称きらり）に利用者・職員を派遣しクリーニングを実施することにより、就労の場の確保を図ることができました。

カ 障害者優先調達推進法に関する受注の状況

部 署 名	件 数	金 額 (円)	受 注 内 容
ク リ ー ニ ン グ 科	41	10,692,231	カーテン・防寒着・手術着等のクリーニング
印 刷 科	120	40,777,194	封筒名刺等の印刷、広報誌等
縫 製 班	3	196,396	クッションカバー、法被等
組 立 ・ 軽 作 業 班	0	0	
第 二 ワ ー ク ピ ア	6	8,083,058	洗濯業務委託 衣類・リネン等のクリーニング
合 計	170	59,748,879	

キ 事業所別 作業参加状況 (B型・生活介護)

事業所	在籍者数	作業項目				平均工賃	
		クリーニング	印刷	縫製	組立・軽作業	月額	時給
貴 峯 荘	34	16	3	4	11	24,976	208
貴 峯 荘 生活介護	10	6	3	1	0	34,467	287
貴 峯 荘 ワークピア	16	5	6	3	2	43,875	366
貴 峯 荘 湘南の丘	6	1	1	1	3	4,382	37
貴 峯 荘 地域支援セ	1	0	0	0	1	415	40
小計	67	28	13	9	17		
貴 峯 荘 第2ワークピア	15	15				27,726	276
合計	149	71	26	18	34		

ク 就労継続支援A型事業所 利用状況

事業所	在籍者数	作業項目				平均賃金	
		クリーニング	印刷	縫製	組立・軽作業	月額	時給
貴 峯 荘 第2ワークピア	4	4				160,477	1,235

※就労継続支援A型の利用者については、非常勤職員として雇用し最低賃金を適用しています。

ケ 作業科目別 売上の状況

部署名	売上額 (円)	年間稼働日	主な取引先・活動内容
ク リ ー ニ ン グ 科	25,533,935	259日	県内病院、施設、学校関係、出先機関
印 刷 科	56,204,040	243日	学校、神奈川県庁、市町村関係、他
縫 製 班	6,650,920	243日	県内障害者、高齢者施設、一般企業 ひらつか障がい者福祉ショップ、他
組 立 軽 作 業 班	2,443,575	243日	神奈川セルフセンター、他
介 護 用 品	19,387,431	243日	県内障害者・高齢者施設、他
小 計	110,219,901		
貴 峯 荘 第2ワークピア	62,023,151	269日	神奈川県総合リハビリテーション事業団 子ども自立生活支援センター他
合 計	172,243,052		

#### 4 自治共済会

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、日々の検温や手指消毒（手洗い）の実施など、自治共済会としてひとりひとりが出来るかぎりの事を行いました。また、感染者が発生した際には個室隔離、フロア隔離などの対応に協力して感染拡大防止に努めました。

利用者が楽しめるようにと、会員の皆様からの意見、要望を集約し土日、祝日にドライブや映画会、卓上ゲーム、法人の墓参り（清掃）、定期的な買い物同行を行い工夫した余暇活動が企画・実施されました。

会員各自が興味のある活動に参加し、日常生活を楽しむことが出来ました。自治共済会としては、こうした土日祝日の余暇活動の参加者に飲み物等の提供をしました。また、施設内行事の夏まつりでの盆踊りや、富士見地区の市民体育レクリエーション大会に参加し、地域の方々と交流を深めることが出来ました。

少しずつではありますが元の生活に戻りつつある中で、今後の感染症防止対策を一人ひとりが徹底して行うよう会員の周知に努めていきます。

#### 令和6年度自治共済会役員

会 長	羽藤 比奈子
副会長	所 恵子
	阿部 雄二郎
給食委員	若山 智明
会 計	青野 正伸
会計監査	水堀 健司
書 記	生田 雄一
総 務	田所 正哉

# 資 料 編

令和6年度 利用者状況総括表

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貴 峯 荘 施設入所支援 生活介護 (定員40名)	入 所 者 数	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
	通所利用者数	10	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10
	異 動 状 況	△1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
貴 峯 荘 短期入所事業 (定員4名)	利用者実人数	3	3	3	2	4	4	4	3	4	4	4
	延利用者数	8	8	7	7	9	9	10	8	9	8	10
	延利用日数	33日	33日	33日	32日	35日	34日	41日	43日	43日	39日	43日
貴峯荘ワークピア 就労継続支援B型 (定員20名)	利用者実人数	18	18	18	17	18	17	17	17	17	16	16
	事業実施日数	21日	21日	20日	22日	21日	22日	22日	20日	19日	18日	20日
	入 所 者 数	48	48	48	48	47	47	46	45	46	47	47
貴 峯 荘 湘 南 の 丘 施設入所支援 生活介護 (定員50名)	異 動 状 況	1	△1	△1	0	△1	△1	0	△1	1	1	0
	利用者実人数	2	3	2	2	4	4	3	3	2	2	2
	延利用者数	3	6	5	6	8	9	8	4	4	4	4
貴 峯 荘 地 域 支援センター 生活介護 (定員20名)	延利用日数	11日	31日	12日	13日	18日	19日	12日	11日	13日	13日	11日
	利用者実人数	16	16	17	17	17	17	17	17	16	17	17
	事業実施日数	21日	21日	20日	22日	21日	19日	22日	21日	20日	18日	20日
第一貴峯館 指定共同生活援助事業 定員 (第一貴峯館7名) (第二貴峯館7名)	延利用者数	134	150	141	155	152	140	141	139	139	132	142
	1日当たりの利用者数	6.4	7.1	7.1	7.0	7.2	7.4	7.2	7.1	6.6	7.0	7.1
	入 居 者 数	10	10	10	10	10	10	10	10	11	10	10
貴峯荘第2ワークピア 就労継続支援A型・B型 (定員10名+10名)	異 動 状 況	0	0	0	0	0	0	0	1	△1	0	0
	利用者実人数 ( A 型 )	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4
	事業実施日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日	23日	22日	23日	23日	23日
貴峯荘第2ワークピア 就労継続支援A型・B型 (定員10名+10名)	利用者実人数 ( B 型 )	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	事業実施日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日	22日	23日	23日	20日	23日
	事業実施日数	22日	23日	22日	23日	23日	23日	22日	23日	23日	20日	23日

# 貴峯荘（施設入所支援・生活介護）利用者状況

令和 7 年 3 月 31 日現在

a. 入所者状況（障害・作業科目・等級）

区分	人数		構成比 %	作業科目（人）								
	男	女		合計	印刷 シニア	印刷 縫製	1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	13	2	15	4	1	7	3	0	8	3	1	2
脳血管障害	4	0	4	2	0	2	0	2	1	1	0	0
聴覚障害	5	2	7	4	2	0	1	0	7	0	0	0
脊髄損傷	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
頭部外傷	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
小脳性失調	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
他神経系疾患	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
骨関節疾患	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
切断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	1	3	2	0	1	0	1	2	0	0	0
計	28	6	34	15	3	12	4	4	19	6	2	2

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	0	0	0.0
20～29歳	0	0	0.0
30～39歳	0	0	0.0
40～49歳	0	0	0.0
50～59歳	4	0	11.8
60～69歳	13	3	47.1
70歳以上	11	3	41.2
計	28	6	100
最高年齢(才)	83	78	---
平均年齢(才)	68.0	69.3	全体平均 67.7

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	1	0	2.9
1～3年未満	0	0	0.0
3～5年未満	1	0	2.9
5～10年未満	6	0	17.6
10～15年未満	1	1	5.9
15～20年未満	0	0	0.0
20～25年未満	2	0	5.9
25～30年未満	3	1	11.8
30年以上	14	4	52.9
平均年数(年)	27	30	全体平均 27.8

d. 日常生活動作別状況

区分	移動		食事		入浴		着脱		排泄		
	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	
											乗車
男性	13	10	5	2	3	21	7	12	16	26	2
女性	4	0	2	2	0	4	2	4	2	5	1
計	17	10	7	4	3	25	9	16	18	31	3
構成比	50.0	29.4	20.6	57	0.8	73.5	26.5	47.1	52.9	91.2	8.8

e. 支援機関別状況

区分	区内		平塚市		横浜市		川崎市		横須賀市		相模原市		東京都		他	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
人数	10	0	5	1	6	1	0	1	3	1	2	1	2	1	0	28
構成比 %	29.4	17.6	20.6	2.9	11.8	8.8	8.8	0.0	100							

f. 年金受給状況

区分	障害基礎 1級		障害基礎 2級		障害厚生		障害補償年金 (労災)		老齢基礎		共済年金		無年金		計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
人数	12	12	3	3	3	3	1	1	0	0	1	1	0	0	34
構成比 %	35.3	35.3	8.8	8.8	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100

g. 利用者負担額別状況

利用料	利用者負担額別状況		食費・光熱水費	
	人数	割合	補足給付額(日額)	人数
月額上限	34	100	0	10
5000円未満	0	0	1～150円未満	1
10,000円未満	0	0	151～300円未満	12
15,000円未満	0	0	301～450円未満	2
20,000円未満	0	0	451～600円未満	3
25,000円未満	0	0	601～750円未満	0
30,000円未満	0	0	751～900円未満	0
35,000円未満	0	0	901～1050円未満	0
37,200円以下	0	0	1051～1,185円以下	0
計	34	100	1186～1908円	6

h. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	4
区分5	18
区分4	9
区分3	3
区分2	0
区分1	0
計	34
平均区分	4.68

# 貴峯荘（生活介護（通所））利用者状況

令和7年3月31日現在

a. 通所者状況（障害・作業科目・等級）

区分	人数		構成比 %	作業科目 (人)									
	男	女		合計	クリーニング	印刷	縫製	1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	4	2	60.0	3	3	0	0	1	4	1	0	0	0
脳血管障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚障害	1	1	20.0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0
脊髄損傷	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭部外傷	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小脳性失調	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他神経系疾患	1	0	10.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨関節疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
切	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	10.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	4	100	6	3	0	1	1	6	2	1	0	0

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	0	0	0.0
20～29歳	1	0	10.0
30～39歳	0	0	0.0
40～49歳	2	0	20.0
50～59歳	0	2	20.0
60～69歳	3	2	50.0
70歳以上	0	0	0.0
計	6	4	100
最高年齢(才)	69	67	—
平均年齢(才)	51.7	59.0	54.6

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	1	0	10.0
1～3年未満	1	0	10.0
3～5年未満	0	0	0.0
5～10年未満	0	0	0.0
10～15年未満	0	0	0.0
15～20年未満	0	1	10
20～25年未満	0	0	0.0
25～30年未満	1	0	10
30年以上	3	3	60.0
計	6	4	100
平均年数(年)	27.0	35.5	29.3

d. 日常生活動作別状況

区分	移動		食事		入浴		着脱		排泄		
	自立	歩行補助具	自	配	自	一部介助	自	一部介助	自	一部介助	
											移乗動作
人数	3	2	1	0	1	3	3	4	2	5	1
男性	2	2	0	0	0	2	2	4	0	4	0
女性	5	4	1	0	1	5	5	8	2	9	1
計	50.0	40	10.0	0.0	100	50.0	50.0	80.0	20.0	90.0	10.0
構成比%	50.0	40	10.0	0.0	100	50.0	50.0	80.0	20.0	90.0	10.0

e. 支援機関別状況

区分	県内		平塚市		横浜市		川崎市		横浜原市		東京都		他県	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	5	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比%	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

f. 年金受給状況

区分	障害基礎		障害厚生		障害補償年金(労災)		老齢基礎		共済年金		無年金	
	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級
人数	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
構成比%	70.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0

g. 利用者負担額別状況

月額上限	利用料		食費・光熱水費	
	人数	補足給付額(日額)	人数	補足給付額(日額)
0	10	0	0	0
5000円未満	0	1～150円未満	0	0
10,000円未満	0	151～300円未満	0	0
15,000円未満	0	301～450円未満	10	0
20,000円未満	0	451～600円未満	0	0
25,000円未満	0	601～750円未満	0	0
30,000円未満	0	751～900円未満	0	0
35,000円未満	0	901～1050円未満	0	0
37,200円以下	0	1051～1,185円以下	0	0
計	10	1186～1908円	0	10

h. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	2
区分5	2
区分4	5
区分3	1
区分2	0
区分1	0
計	10
平均区分	4.50

貴峯荘湘南の丘（施設入所支援・生活介護）利用者状況

令和 7 年 3 月 31 日現在

a. 入所者状況（障害・等級）

区分	人数		障害等級（人）						構成比 %
	男	女	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
脳性マヒ	8	7	7	8	0	0	0	0	34.9
脳血管障害	6	6	7	4	0	1	0	0	27.9
聴覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脊髄損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
頭部外傷	3	0	1	0	1	1	0	0	7.0
小脳性失調	1	1	0	2	0	0	0	0	4.7
他神経系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
骨関節疾患	1	0	1	0	0	0	0	0	2.3
切断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
筋ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
複合障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	6	4	6	4	0	0	0	0	23.3
計	25	18	22	18	1	2	0	0	100

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	0	0	0.0
20～29歳	0	0	0.0
30～39歳	0	0	0.0
40～49歳	2	2	9.3
50～59歳	8	5	30.2
60～69歳	7	5	27.9
70歳以上	8	6	32.6
計	25	18	100
最高年齢	82	84	---
平均年齢	63.7	57.5	全体平均 60.6

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	1	0	2.2
1～3年未満	4	1	13.0
3～5年未満	2	0	4.3
5～10年未満	2	5	19.6
10～15年未満	3	1	8.7
15～20年未満	13	11	52.2
20～25年未満	0	0	0.0
25～30年未満	0	0	0.0
30年以上	0	0	0.0
計	25	18	43
平均年数	12.0	33.7	23.1

d. 日常生活活動別状況

区分	移動		移動手段		食事				入浴				着脱		排泄												
	自立	介助	歩行補助具等	車椅子	経管栄養	配膳		制限食	アレルギー食	食物繊維	主食		副菜	見守り	自立	一部介助	全介助										
						自立	配膳				常食	粥等						常食	特食								
人数	20	5	3	22	14	11	0	0	25	9	2	0	23	2	17	8	0	13	12	8	8	9	6	9	10		
男	12	6	1	17	8	10	0	0	18	2	16	6	2	0	17	1	8	10	5	12	3	8	7	4	3	11	
女	32	11	4	39	22	21	0	0	43	2	41	15	4	0	40	3	25	18	0	18	24	11	16	16	10	12	
構成比 %	74.4	25.6	9.302	90.7	56.4	53.85	0.0	0.0	100	4.7	95.3	34.88	9.3	0	93.0	7.0	58.1	41.9	2.3	41.9	55.8	25.6	37.21	37.2	23.3	27.9	48.8

e. 利用者負担額別状況

利用料	食費・光熱水費		人数
	月額上限	補足給付(日額)	
0	0	0	9
5000円未満	1～150円未満	1	1
10000円未満	150～300円未満	19	19
15000円未満	300～450円未満	3	3
20000円未満	450～600円未満	3	3
25000円未満	600～750円未満	0	0
30000円未満	750～900円未満	0	0
35000円未満	900～1050円未満	0	0
37200円以下	1050～1185円以下	0	0
---	1186～1908円未満	8	8
計			43

f. 年金受給状況

区分	障害基礎年金		障害補償年金(労災)		老齢基礎年金		共済年金		無年金		生活保護		計
	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級	
人数	25	5	0	5	3	0	0	0	0	0	5	43	
構成比 %	58.1	11.6	0.0	11.6	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	100	

g. 支援機関別状況

区分	川崎市		横浜市		横須賀市		相模原市		東京都		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人数	11	10	4	6	7	1	0	0	1	1	43
構成比 %	48.8	23.3	18.6	0.0	2.3	2.3	4.7	100	1	1	100

h. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	25
区分5	14
区分4	3
区分3	1
区分2	0
区分1	0
計	43
平均区分	5.47

# 第一貴峯館（共同生活援助）利用者状況

令和 7 年 3 月 31 日現在

a. 利用者状況（障害・作業科目・等級）

区分	人数		構成比 %	作業科目（人）						障害等級（人）					
	男	女		合計	生活介助	A	B	就労	一般就労	1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	2	2	4	4	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	
脳血管障害	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
聴覚障害	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
脊髄損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
頭部外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小脳性失調	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他神経系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
骨関節疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
切断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
複合障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
身体障害計	5	3	8	5	0	3	0	2	0	1	0	0	1	0	
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
知的障害	1	1	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
計	6	4	10	5	1	3	1	2	2	4	1	0	1	0	

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	0	0	0.0
20～29歳	0	0	0.0
30～39歳	0	1	10.0
40～49歳	2	0	20.0
50～59歳	1	1	20.0
60～69歳	2	2	40.0
70歳以上	1	0	10.0
計	6	4	100
最高年齢(才)	78	67	
平均年齢(才)	58.2	54.0	全体平均 56.5

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	1	0	10.0
1～3年未満	1	0	10.0
3～5年未満	0	0	0.0
5～10年未満	0	1	10.0
10～15年未満	4	3	70.0
15～20年未満	0	0	0.0
20～25年未満	0	0	0.0
25～30年未満	0	0	0.0
30年以上	0	0	0.0
平均年数(年)	6.8	9.0	全体平均 5.0

d. 日常生活活動別状況

区分	移動		食事		入浴		着脱		排泄	
	自立	移動	自	配	自	立	自	立	自	立
人数	4	2	4	0	0	0	0	0	0	0
男性	4	2	0	0	5	1	6	0	6	0
女性	4	0	0	0	2	2	4	0	4	0
計	8	2	0	0	7	3	10	0	10	0
構成比%	80	20	0	0	70	30	100	0	100	0

e. 支援機関別状況

区分	県内		平塚市		横浜市		川崎市		相模原市		東京都	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	3	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
構成比%	60.0	60.0	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

f. 年金受給状況

区分	障害基礎		障害厚生		障害補償年金 (労災)		老齢基礎		共済年金		無年金	
	1級	2級	1級	2級								
人数	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
構成比%	50.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	100

g. 利用者負担額別状況

月額上限	人数
0	9
5000円未満	0
10,000円未満	0
15,000円未満	0
20,000円未満	0
25,000円未満	0
30,000円未満	0
35,000円未満	0
37,200円以下	1
計	10

h. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	0
区分5	1
区分4	4
区分3	4
区分2	0
区分1	0
非該当	0
無判定	1
合計	10

貴峯荘地域支援センター（生活介護）利用者状況

令和 7 年 3 月 31 日現在

a. 利用者状況（障害・等級）

区分	人数		構成比 %	障害等級（人）					
	男	女		1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	1	2	17.6	2	1	0	0	0	0
脳血管障害	1	0	5.9	1	0	0	0	0	0
聴覚障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
脊髄損傷	1	0	5.9	1	0	0	0	0	0
頭部外傷	1	0	5.9	1	0	0	0	0	0
小脳性失調	0	1	5.9	0	1	0	0	0	0
他神経系疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
骨関節疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
切断	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
複合障害	0	1	5.9	1	0	0	0	0	0
その他	2	4	35.3	2	3	1	0	0	0
知的障害	0	3	17.6	3	0	0	0	0	0
計	6	11	100	8	5	1	0	0	0

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	0	0	0.0
20～29歳	1	3	23.5
30～39歳	0	2	11.8
40～49歳	1	1	11.8
50～59歳	2	4	35.3
60～69歳	2	1	17.6
70歳以上	0	0	0.0
計	6	11	100
最高年齢	63	69	---
平均年齢	49.7	43.3	全体平均 45.5

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	1	2	17.6
1～3年未満	1	2	17.6
3～5年未満	1	1	11.8
5～10年未満	0	1	5.9
10～15年未満	0	2	11.8
15～20年未満	3	3	35.3
20～25年未満	0	0	0.0
25～30年未満	0	0	0.0
30年以上	0	0	0.0
計	6	11	100
平均年数	9.5	8.0	8.53

d. 日常生活動作別状況

区分	移動		食事	入浴		着脱		排泄							
	自	介		自	介	自	介	自	介						
										自立	介助	自立	介助		
男性	2	0	4	0	6	1	2	3	2	2					
女性	3	2	6	1	11	1	5	5	4	2					
計	5	2	10	1	17	2	7	8	7	4					
構成比%	29.4	11.8	58.8	10.0	90.0	0.0	100	11.8	41.2	47.1	23.5	35.3	41.2	23.5	35.3

e. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	8
区分5	5
区分4	1
区分3	3
区分2	0
区分1	0
非該当	0
計	17
平均区分	5.06

f. 利用日数（利用定員20名）

週当りの利用希望日数	人数	日数
週5日利用希望者	2	10
週4日利用希望者	0	0
週3日利用希望者	4	12
週2日利用希望者	7	14
週1日利用希望者	4	4
計	17	40
1日当りの平均利用予定者数		8.0

g. 利用者負担額別状況

月額上限	人数
0	15
5000円未満	0
10,000円未満	1
15,000円未満	0
20,000円未満	0
25,000円未満	0
30,000円未満	0
35,000円未満	0
37,200円以下	1
計	17

食事提供  
加算対象  
者  
(支給額)  
300円  
13名

h. 支援機関別状況

区分	県内		横濱市		川崎市		相模原市	
	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	0	1	6	10	0	0	0	0
構成比%	5.9	94.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

i. 年金受給状況

区分	障害基礎 1級		障害基礎 2級		障害厚生 (労災)		共済年金		無年金		生活保護		計
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	
人数	7	41.2	4	23.5	0	0.0	0	0.0	4	23.5	1	5.9	17
構成比%	41.2	23.5	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	23.5	5.9	100	100	

# 貴峯荘ワークピア（就労継続支援B型）利用者状況

令和7年3月31日現在

a. 利用者状況（障害・作業科目・等級）

区分	人数		構成比 %	作業科目				障害等級				
	男	女		クリーニング	印刷	縫製	1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	4	2	22.2	1	3	1	1	1	3	2	0	0
脳血管障害	2	1	11.1	1	2	0	0	1	1	0	0	1
聴覚障害	1	0	3.7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
脊髄損傷	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭部外傷	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小脳性失調	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他神経系疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨関節疾患	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
切断	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合障害	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	3.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害計	8	3	41	3	5	1	2	0	0	0	0	0
精神障害	1	0	3.7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	3	1	14.8	1	1	1	1	1	1	1	1	2
計	12	4	59	5	6	2	3	4	4	2	2	3

b. 年齢階層別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
20歳未満	0	0	0.0
20～29歳	1	1	12.5
30～39歳	3	0	18.8
40～49歳	3	1	25.0
50～59歳	3	1	25.0
60～69歳	1	1	12.5
70歳以上	1	0	6.3
計	12	4	100.0
最高年齢	78	61	
平均年齢	47	46	全体平均 46.9

c. 利用年数別状況

区分	人数		構成比 %
	男	女	
1年未満	0	0	0.0
1～3年未満	2	1	18.8
3～5年未満	0	1	6.3
5～10年未満	2	1	18.8
10～15年未満	4	0	25.0
15～20年未満	2	0	12.5
20～25年未満	1	0	6.3
25～30年未満	1	0	6.3
30年以上	0	1	6.3
計	12	4	100
平均年数	13.5	12.0	12.3

d. 日常生活動作別状況

区分	移動		食事		入浴		着脱		排泄	
	自立	歩行補助具	自	配	自	配	自	配	自	配
人数	8	4	0	10	2	11	1	11	1	12
男性	1	2	1	3	3	1	4	0	4	0
女性	7	2	1	7	1	8	1	7	1	8
計	9	6	1	11	5	14	2	15	1	16
構成比%	56.3	37.5	6.25	68.8	31.3	87.5	12.5	93.8	6.25	100

e. 支援機関別状況

区分	県内		平塚市		横浜市		川崎市		相模原市		東京都		他県	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	2	0	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比%	12.5		87.5		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

f. 年金受給状況

区分	障害基礎 1級		障害基礎 2級		障害厚生		障害補償年金 (労災)		老齢基礎		共済年金		無年金	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
人数	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	16
構成比%	31.3	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	100

g. 利用者負担額別状況

月額上限	人数
0	16
5000円未満	0
10,000円未満	0
15,000円未満	0
20,000円未満	0
25,000円未満	0
30,000円未満	0
35,000円未満	0
37,200円以下	0
計	16

h. 日額賃金状況

区分	最高	平均
クリーニング	4,800円	2,388円
印刷	4,920円	1,824円

i. 障害支援区分

支援区分	人数
区分6	0
区分5	0
区分4	3
区分3	7
区分2	3
区分1	0
非該当	0
無判定	3
計	16
平均区分	2.44

食事提供加算対象者  
(支給額 300円)

16名

貴峯荘第2ワークピア（就労継続支援A型・B型）利用者状況

令和7年3月31日現在

a. 利用者状況（障害・等級）

区分	A型						B型								
	人数		構成比%		障害等級		人数		構成比%		障害等級				
	男	女	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	1級	2級	3級	4級	5級	6級
脳性マヒ	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳血管障害	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚障害	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脊髄損傷	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭部外傷	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小脳性失調	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他神経系疾患	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨関節疾患	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
切断	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合障害	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害計	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	4	0	4	100.0	A判定	0	B判定	4		4	0	0	0	0	0
計	4	0	4	100						4	0	0	0	0	4

b. 年齢階層別状況

区分	A型			B型		
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
	男	女	合計	男	女	合計
20歳未満	0	0	0	0.0	0	0
20～29歳	1	0	1	20.0	6	3
30～39歳	1	0	1	20.0	1	0
40～49歳	2	0	2	40.0	2	4
50～59歳	0	0	0	20.0	0	1
60～69歳	0	0	0	0.0	0	0
70歳以上	0	0	0	0.0	0	0
計	4	0	4	100	9	6
最高年齢(歳)	45	0				
平均年齢(歳)	37.5	0		37.5	26.6	36.1
				A型平均		B型平均
						31.3

c. 日常生活動作別状況

区分	A型				B型			
	移動歩行補助具なし	移動歩行補助具あり	排泄	食事	移動歩行補助具なし	移動歩行補助具あり	排泄	食事
	自立	一部介助	自立	自配	自立	一部介助	自配	自配
男性	4	0	4	0	4	0	4	0
女性	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	0	4	0	4	0	4	0
構成比%	100	0	100	0	100	0	100	0

d. 支援機関別状況

区分	伊勢原市		厚木市		平塚市		相模原市		川崎市		東京都		他県		計
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	
A型	1	25.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	4
B型	5	53.3	2	13.3	0	0.0	2	13.3	0	0.0	2	20.0	0	0.0	15
計	6		4		0		2		0		2		0		19

e. 年金受給状況

区分	障害基礎年金		障害厚生年金		障害補償年金(労災)		老齢基礎年金		生活保護	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
A型	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
B型	2	13.3	4	26.7	0	0.0	0	0.0	9	60.0
計	2		4		0		0		9	

f. 利用者負担額別状況

月額上限	人数	
	A型	B型
0	4	15
5000円未満	0	0
10,000円未満	0	0
15,000円未満	0	0
20,000円未満	0	0
25,000円未満	0	0
30,000円未満	0	0
35,000円未満	0	0
37,200円以下	0	0
計	4	15

A型は利用者負担減免措置適用

g. 月額賃金状況

区分	最高	平均
B型	2,820円	1,364円

h. 障害支援区分

支援区分	人数	
	A型	B型
区分6	0	0
区分5	0	0
区分4	0	2
区分3	0	3
区分2	2	7
区分1	0	0
非該当	1	0
無判定	1	3
平均区分	1.00	2.07

食事提供加算対象者  
(支給額 300円)  
19名

# 第四次中期行動計画

令和6年度～10年度

---

～ 法人経営・施設運営の

基本方針と重点的取り組み ～

社会福祉法人 貴 峯

# 目 次

I	策定の趣旨	1
II	法人経営の「基本方針」と「重点的取り組み」	2
	基本方針	2
	重点的取り組み	
	○組織の一体化のもとで利用者満足の実現	2
	○指定共同生活援助事業（グループホーム）の体制整備	2
	○福祉サービス第三者評価の実施	2
	○法人と施設の将来方向の研究	3
	○地域支援センター敷地の活用	3
	○防災対策の着実な整備	3
III	施設運営の「基本方針」と「重点的取り組み」	3
	基本方針	3
	重点的取り組み	
	○授産部の充実	4
	○ボランティア受入れの計画的取り組み	4
	○貴峯荘と貴峯荘湘南の丘の組織連携の強化	4
	○日中活動のあり方検討	4
	○研修の強化と職員自己啓発への支援	5
	○通所部門の活動強化と相談機能の充実	5
IV	附属資料	6

## 第四次中期行動計画の策定について

### I 策定の趣旨

社会福祉法人 貴峯は、平成21年4月1日を起点とする5ヶ年間の「第一次中期行動計画」を、さらに平成26年4月1日からは「第二次中期行動計画」を、令和元年4月1日からは「第三次中期行動計画」を定め、法人経営と施設運営の計画的かつ具体的な指針としてまいりました。

折から、平成29年度の社会福祉法の改正は、その視点として社会福祉法人は、これまで以上の公益性、非営利の確保、多様・複雑化する福祉ニーズへの的確な対応等を通して地域社会の発展に貢献することを掲げ、具体的な取組として、

- ガバナンス（統治機能）の強化
- 事業運営の透明化
- 財政規律の整備
- 地域における公益的な取り組み

を求めています。

この改正は、これまでそれぞれの社会福祉法人が取り組んできたものであるとはいえ、改めて法定化された意義は大きく、社会の公器としての社会福祉法人のあり方が問われる時代の分岐点と認識しなければならないと考えております。

私共は、時代の変化への的確な対応を念頭におきつつ、

- 利用者の人権尊重と様々なハラスメントの根絶
- より質の高いサービスの提供
- 経営の合理化、健全化の促進
- 地域社会からの一層の信頼の確保

を基本命題として、第一次、第二次、第三次計画に引き続き、令和6年4月を起点とする、向こう5ヶ年間の「第四次中期行動計画」を策定することとします。

名称	社会福祉法人 貴 峯 第四次中期行動計画
期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
構成	法人経営の「基本方針」と「重点的取り組み」 施設運営の「基本方針」と「重点的取り組み」

## Ⅱ 法人経営の「基本方針」と「重点的取り組み」

### 基本方針

- 1 部門間連携の緊密化と相互協力体制の強化をとおして、統制のとれた一体的な組織運営に努めます。
- 2 社会福祉関係法令等を遵守し、職員に浸透徹底することによって、利用者並びに地域社会からの信頼に添えていきます。
- 3 利用者、職員等に対し、経営内容に係る情報の開示に努め、経営の透明化、信頼性の確保に努めます。
- 4 災害に強く安心のできる防災体制を確立するとともに、権利擁護、個人情報の保護、ハラスメントへの対応等、今日的なテーマへの対応に努めます。

### 重点的取り組み

#### ○組織の一体化のもとで利用者満足の実現

- 評議員会、理事会で定めた活動方針に即し、「就労」、「生活介護」、「医療・看護」、「食事提供」の各部門の連携を密にし、一体感のある組織運営に努めます。
- 利用者の人権尊重、苦情への対応、ハラスメントの根絶、マイナンバーの取り扱い等に不断の点検を重ね利用者との信頼関係を築いてまいります。

#### ○指定共同生活援助事業（グループホーム）の体制整備

「指定共同生活援助事業」の円滑な運営を確保するとともに、さらなる利用ニーズの把握に努め、受入れ体制を整えていきます。

#### ○福祉サービス第三者評価の実施

サービスの質の向上を目指し、公正・中立な第三者評価機関による評価を検討します。

## ○法人と施設の将来方向の研究

開設から今日までの身体障害者の支援施設としての使命、役割を基調におきながら、地域に生活する在宅の知的障害者ならびに精神障害者等への支援を視野に入れた法人と施設の将来のあり方について研究します。

## ○地域支援センター敷地の活用

地域支援センター敷地の有効利用については、地域状況を勘案しながら法人の役割を果たすべく、在宅障害児・者及び家族への支援、高齢者向け住宅や高齢の障害者対策等、居宅介護サービス事業等の整備の可否について、幅広く検討します。

## ○防災対策の着実な整備

順次、防災資機材の充実を図るとともに、危険個所の点検や備蓄食糧の準備等に取り組むとともに、事業継続計画（BCP）策定による総合防災マニュアルの見直し等により安心・安全な体制を整えます。

## Ⅲ 施設運営の「基本方針」と「重点的取り組み」

### 基本方針

- 1 利用者の権利を守り、利用者から信頼され、利用者が安心して働き、生きがいをもって生活できる施設を目指します。
- 2 より質の高いサービスを提供するため、職員の能力開発、研修を積み重ねることによって、専門性の向上に努めます。
- 3 就労分野の高い品質を維持し、市場競争を生き抜くため必要な設備投資、新技術システムの導入等ハード、ソフト両面にわたって基盤整備に努めることとします。
- 4 地域社会との連携を強め、地域における障害者福祉の拠点施設としての責任、役割を果たします。

## 重点的な取り組み

### ○授産部の充実

- クリーニング・印刷・縫製・軽作業の各部門について、営業活動の充実による、仕事量の確保及び新規作業種目ならびに新規顧客の開拓に努めるとともに、作業能力の維持ならびに高度化に向けた職員、利用者の確保・研修に取り組みます。
- 利用者の高齢化に伴って、組立・軽作業への転向希望が増えつつあることから、精密作業から粗大作業まで幅広い作業種目の導入に取り組みます。

### ○ボランティア受入れの計画的取り組み

- 地元自治会との協調・連携のもとに、ボランティア登録ならびに受入れの「倍増」を目標として計画的に取り組みます。
- また、地域の学校のサークル活動と協力した利用者との交流の場を検討するなど、地域社会との連携を強めていきます。

### ○貴峯荘と貴峯荘湘南の丘の組織連携の強化

- 貴峯荘の利用者の高齢化に伴う支援区分の重度化を勘案し、湘南の丘との日中活動の交流をはじめとする相互交流のあり方について検討していきます。

### ○日中活動のあり方検討

- 各種クラブ活動・社会参加活動・イベント行事等の現状分析と将来方向を検討し、日中活動プログラムの充実を図ります。
- また、「ふれあいの家」や「ボランティアセンター」等外部団体との連携のもとに、日中活動の多様化に努めます。

## ○研修の強化と職員自己啓発への支援

- 研修委員会の機能を強化し、職員の階層別（新人、中堅、幹部）、テーマ別（専門知識、一般教養）等、きめ細かな研修体系を築き、計画的に取り組めます。
- 専門的な技術を必要とする印刷やクリーニング部門の職員育成に努めるとともに、積極的に介護福祉士等の資格取得を奨励し、職員の日々の努力が報われる人事評価の在り方について検討していきます。

## ○通所部門の活動強化と相談機能の充実

- 地域支援センター等通所部門の活動強化の一環として、在宅障害者のニーズを把握し、「利用日の拡大」、「利用時間の延長」等により、「利用者の増」を目指します。
- 相談機能の充実を図り、関係事業所との連携を強化します。また、在宅障害者への支援施設の使命を果たすべく、障害支援認定調査やサービス等利用計画の作成、在宅相談等相談業務の充実に努めます。
- 在宅障害者に加えて、介護保険の認定を受けている者への利用を拡げるため、「共生型通所事業」の開設に向けて取り組みます。

## IV 附属資料

### 法人経営・施設運営の指針

#### 使 命

利用者の働く場を確保するとともに健康で安心のできる定住拠点を築きます

#### 基本理念

##### 自主・自立・安心・連携

利用者個々人の「自主性」「主体性」を尊重し、利用者の就労活動、社会参加活動等をとおして「自立」を促進するとともに、利用者にとって「安心」「安全」の定住拠点を地域社会との「連携」「交流」のもとに築いていきます

#### 長期目標

- ・ 生産体制を整備し、就労支援により利用者の働きがい、生きがいの向上に努めます
- ・ 日中活動の充実により、利用者満足の達成に努めます
- ・ 職員の人材育成により、サービスの質の向上に努めます
- ・ 職員が継続して勤務することができるよう介護負担の軽減や業務の効率化の環境整備に努めます
- ・ 近隣市民との連携の絆を築くとともに、ボランティアエネルギーに支えられる施設をめざします

## 職員・5つの信条

### 支援の個別化

利用者一人ひとりのニーズを把握し、それぞれの好みやライフスタイルに合わせた画一的ではないサービスの提供に努めます

### 安心の提供

就労・介護・医療・看護・食事提供等各部門の連携を密にし、事故や感染症を未然に防ぐため、リスクマネジメントを徹底することとします

### 人権の擁護

すべての利用者が差別とストレスのない生活が送れるよう利用者の「知る」・「選ぶ」・「決める」権利の保障に努めます

### 自己研鑽

進化する専門技術や知識を習得するため、研修への積極的な参加や自己研鑽に努力します

### 地域社会との連携

職員自らが積極的に地域との結びつきを強め、地域の声に耳を傾けるよう努力します

# MEMO